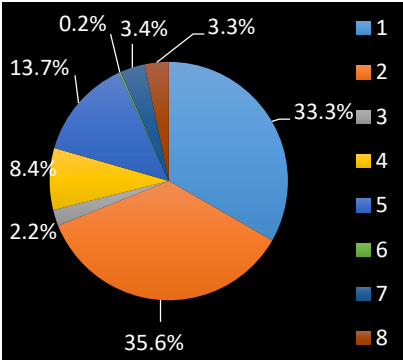
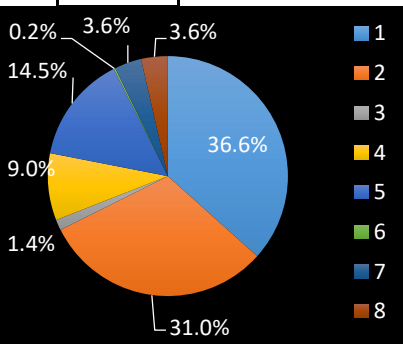


北海道

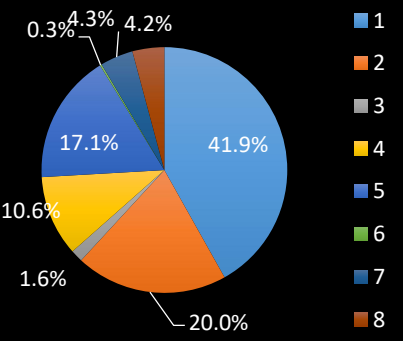
2024年度 77PJ 対前年度比 107.9%



2023年度 71PJ 対前年度比 119.2%



2022年度 60PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	16	37	46	33.3%
◎ 2 風力発電	27PJ	1	4	14	35.6%
3 地熱発電	2PJ	5	8	8	2.2%
4 小水力発電	6PJ	7	27	40	8.4%
○ 5 バイオマス発電	11PJ	1	18	46	13.7%
6 太陽熱利用	0PJ	40	47	47	0.2%
7 地熱利用	3PJ	2	10	28	3.4%
8.バイオマス熱利用	3PJ	8	31	45	3.3%
合計(供給量)	77PJ	1			
再生可能エネルギー自給率			19.8%	再エネ自給率ランク	33
食料自給率			217.3%	食料自給率ランク	1
供給密度(TJ/km ²)			0.983	供給密度ランク	47
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			389PJ		
区域面積			78,358km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	天塩郡豊富町	1208.7%	1	天塩郡幌延町	14.5	☆1	河西郡更別村	7455.2%
☆2	虻田郡留寿都村	854.9%	2	虻田郡留寿都村	12.1	☆2	斜里郡小清水町	6318.2%
☆3	天塩郡幌延町	778.1%	3	江別市	9.9	☆3	斜里郡清里町	5818.0%
☆4	檜山郡上ノ国町	496.8%	4	稚内市	8.7	☆4	河東郡士幌町	4696.2%
☆5	苫前郡苫前町	430.5%	5	天塩郡豊富町	7.9	☆5	網走郡大空町	4283.7%
☆6	寿都郡寿都町	297.7%	6	檜山郡江差町	7.6	☆6	中川郡豊頃町	3866.0%
☆7	磯谷郡蘭越町	263.7%	7	寿都郡寿都町	7.2	☆7	河西郡中札内村	3506.2%
☆8	勇払郡安平町	257.5%	8	勇払郡安平町	7.1	☆8	十勝郡浦幌町	3386.91%
☆9	稚内市	254.9%	9	室蘭市	6.2	☆9	石狩郡新篠津村	2979.2%
☆10	有珠郡壮瞥町	242.6%	10	苫小牧市	6.1	☆10	河東郡鹿追町	2898.0%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

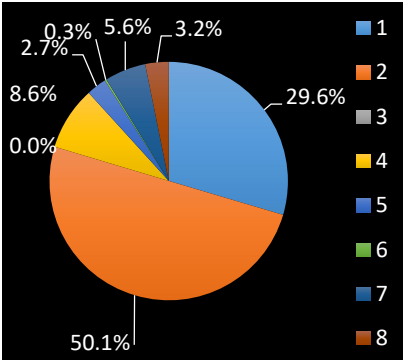
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2024年度 36PJ 対前年度比 102.2%

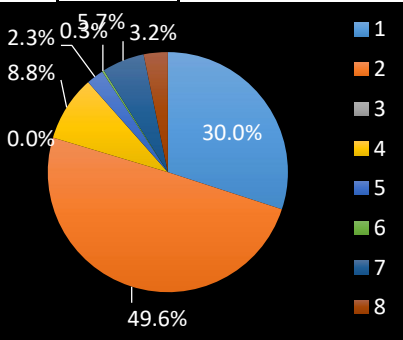


再生可能エネルギー供給状況

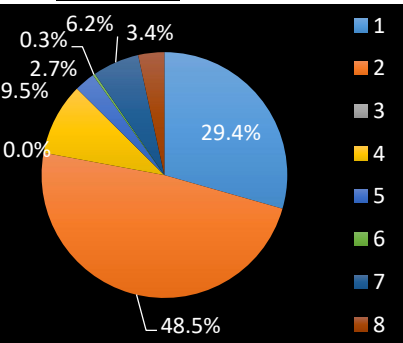
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2023年度 35PJ 対前年度比 108.0%



2022年度 33PJ



PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	34	31	38	29.6%
◎ 2 風力発電	18PJ	2	2	1	50.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3PJ	21	21	26	8.6%
5 バイオマス発電	1PJ	39	40	47	2.7%
6 太陽熱利用	0PJ	45	46	44	0.3%
7 地熱利用	2PJ	3	2	2	5.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	22	21	30	3.2%
合計(供給量)	36PJ	21			
再生可能エネルギー自給率			38.8%	再エネ自給率ランク	13
食料自給率			118.4%	食料自給率ランク	4
供給密度(TJ/km ²)			3.730	供給密度ランク	32
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			93PJ		
区域面積			9,646km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	上北郡横浜町	597.3%	1	つがる市	14.3	☆1	東津軽郡蓬田村	738.7%
☆2	西津軽郡深浦町	539.4%	2	西津軽郡深浦町	6.6	☆2	つがる市	699.7%
☆3	上北郡六ヶ所村	460.1%	3	八戸市	6.2	☆3	北津軽郡中泊町	609.5%
☆4	三戸郡新郷村	287.5%	4	三沢市	5.7	☆4	北津軽郡鶴田町	378.3%
☆5	下北郡東通村	238.3%	5	青森市	3.5	☆5	北津軽郡板柳町	337.0%
☆6	上北郡野辺地町	218.6%	6	五所川原市	3.3	☆6	三戸郡新郷村	330.4%
☆7	上北郡七戸町	215.3%	7	南津軽郡田舎館村	2.9	☆7	南津軽郡田舎館村	321.4%
☆8	つがる市	175.6%	8	平川市	2.3	☆8	上北郡七戸町	306.34%
☆9	下北郡大間町	145.3%	9	南津軽郡藤崎町	2.2	☆9	東津軽郡平内町	291.6%
☆10	北津軽郡中泊町	138.0%	10	十和田市	1.9	☆10	西津軽郡鰺ヶ沢町	290.7%

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

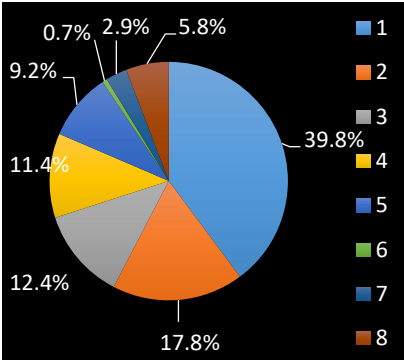
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

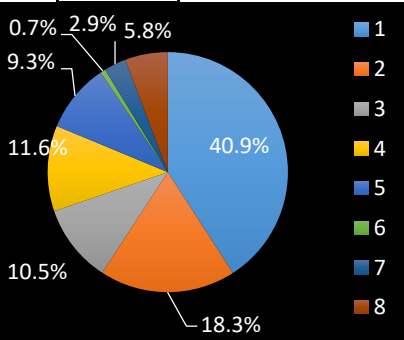
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

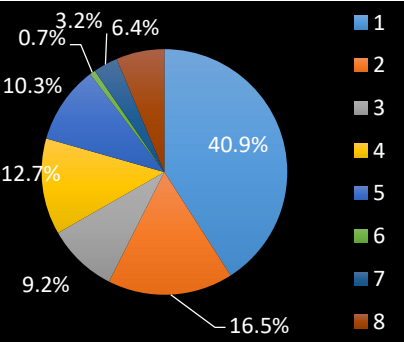
2024年度 34PJ 対前年度比 101.8%



2023年度 33PJ 対前年度比 109.9%



2022年度 30PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	25	23	41	39.8%
○ 2 風力発電	6PJ	5	3	11	17.8%
○ 3 地熱発電	4PJ	3	3	4	12.4%
○ 4 小水力発電	4PJ	11	13	29	11.4%
5 バイオマス発電	3PJ	18	11	38	9.2%
6 太陽熱利用	0PJ	38	34	43	0.7%
7 地熱利用	1PJ	8	6	16	2.9%
8.バイオマス熱利用	2PJ	13	5	28	5.8%
合計(供給量)	34PJ	23			
再生可能エネルギー自給率			43.1%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			104.5%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			2.230	供給密度ランク	41
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			79PJ		
区域面積			15,275km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	岩手郡葛巻町	529.8%	1	九戸郡野田村	10.6	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	332.9%
☆2	九戸郡野田村	392.8%	2	九戸郡軽米町	7.6	☆2	岩手郡雫石町	309.8%
☆3	九戸郡軽米町	359.4%	3	紫波郡矢巾町	6.7	☆3	和賀郡西和賀町	283.1%
☆4	気仙郡住田町	285.2%	4	二戸郡一戸町	5.2	☆4	八幡平市	245.7%
☆5	岩手郡雫石町	231.3%	5	岩手郡雫石町	5.1	☆5	岩手郡葛巻町	218.8%
☆6	二戸郡一戸町	217.4%	6	岩手郡葛巻町	4.2	☆6	下閉伊郡普代村	211.5%
☆7	八幡平市	201.3%	7	九戸郡洋野町	3.8	☆7	奥州市	196.5%
☆8	九戸郡洋野町	133.6%	8	八幡平市	3.7	☆8	二戸郡一戸町	191.47%
☆9	遠野市	131.4%	9	二戸市	3.4	☆9	紫波郡紫波町	191.3%
☆10	下閉伊郡岩泉町	107.4%	10	胆沢郡金ヶ崎町	3.3	☆10	西磐井郡平泉町	189.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

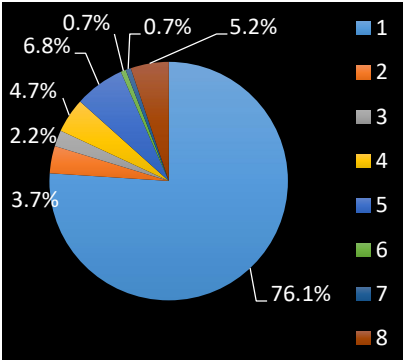
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

2024年度 42PJ 対前年度比 103.4%



再生可能エネルギー供給状況

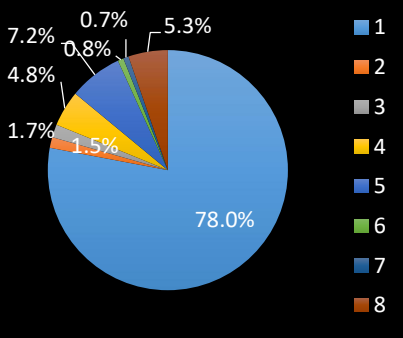
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

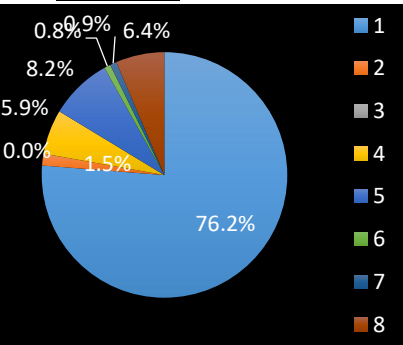
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	13	14	16	76.1%
2 風力発電	2PJ	17	22	22	3.7%
3 地熱発電	1PJ	7	6	5	2.2%
4 小水力発電	2PJ	26	28	28	4.7%
5 バイオマス発電	3PJ	21	24	22	6.8%
6 太陽熱利用	0PJ	36	37	37	0.7%
7 地熱利用	0PJ	21	26	25	0.7%
8.バイオマス熱利用	2PJ	10	9	12	5.2%
合計(供給量)	42PJ	14			
再生可能エネルギー自給率			32.4%	再エネ自給率ランク	21
食料自給率			73.3%	食料自給率ランク	9
供給密度(TJ/km ²)			5.700	供給密度ランク	19
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				128PJ	
区域面積				7,282km2	

2023年度 40PJ 対前年度比 121.1%



2022年度 33PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	568.2%	1	宮城郡松島町	15.7	☆1	加美郡色麻町	502.5%
☆2	黒川郡大郷町	306.4%	2	塩竈市	15.0	☆2	栗原市	349.4%
☆3	柴田郡川崎町	263.1%	3	黒川郡大郷町	14.8	☆3	登米市	348.4%
☆4	伊具郡丸森町	210.9%	4	亶理郡亶理町	13.6	☆4	遠田郡美里町	340.1%
☆5	白石市	202.4%	5	多賀城市	12.4	☆5	加美郡加美町	314.4%
☆6	宮城郡松島町	133.2%	6	岩沼市	12.1	☆6	遠田郡涌谷町	296.7%
☆7	加美郡加美町	129.8%	7	白石市	11.2	☆7	黒川郡大郷町	293.4%
☆8	刈田郡蔵王町	126.9%	8	東松島市	8.8	☆8	牡鹿郡女川町	272.71%
☆9	黒川郡大衡村	120.0%	9	石巻市	8.8	☆9	刈田郡七ヶ宿町	237.3%
☆10	黒川郡大和町	107.7%	10	仙台市	8.2	☆10	黒川郡大衡村	214.6%

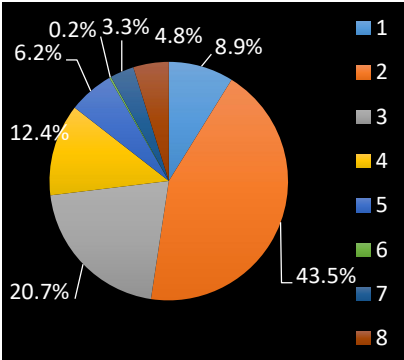
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

2024年度 39PJ 対前年度比 102.6%

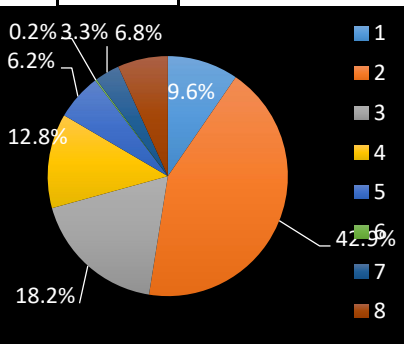


再生可能エネルギー供給状況

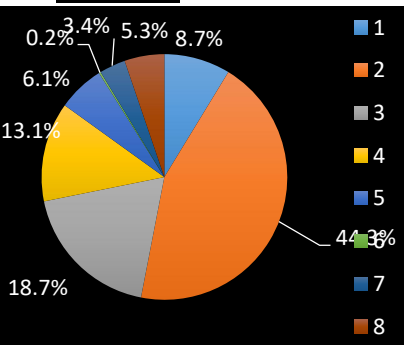
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2023年度 38PJ 対前年度比 103.0%



2022年度 37PJ



PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	3PJ	46	43	47	8.9%
◎ 2 風力発電	17PJ	3	1	2	43.5%
◎ 3 地熱発電	8PJ	2	2	2	20.7%
○ 4 小水力発電	5PJ	10	7	21	12.4%
5 バイオマス発電	2PJ	26	12	37	6.2%
6 太陽熱利用	0PJ	46	43	46	0.2%
7 地熱利用	1PJ	7	3	9	3.3%
8 バイオマス熱利用	2PJ	14	2	23	4.8%
合計(供給量)	39PJ	18			
再生可能エネルギー自給率			58.9%	再エネ自給率ランク	1
食料自給率			206.7%	食料自給率ランク	2
供給密度(TJ/km ²)			3.343	供給密度ランク	35
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			66PJ		
区域面積			11,616km2		

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

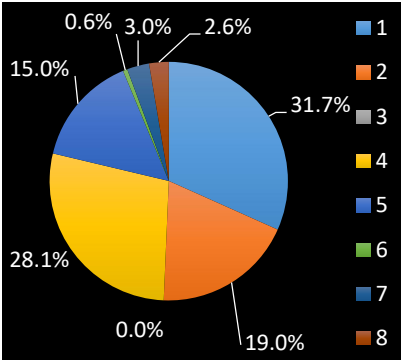
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	269.7%	1	潟上市	24.6	☆1	南秋田郡大潟村	7746.3%
☆2	にかほ市	252.8%	2	にかほ市	13.7	☆2	仙北郡美郷町	563.8%
☆3	湯沢市	195.9%	3	能代市	9.3	☆3	山本郡三種町	514.8%
☆4	潟上市	172.7%	4	男鹿市	9.3	☆4	南秋田郡井川町	443.5%
☆5	山本郡八峰町	169.2%	5	鹿角市	7.1	☆5	山本郡八峰町	401.1%
☆6	雄勝郡東成瀬村	149.2%	6	湯沢市	6.6	☆6	大仙市	377.0%
☆7	山本郡三種町	147.7%	7	秋田市	6.3	☆7	雄勝郡羽後町	367.1%
☆8	能代市	112.6%	8	山本郡三種町	4.9	☆8	北秋田郡上小阿仁村	359.11%
☆9	男鹿市	103.9%	9	由利本荘市	3.7	☆9	山本郡藤里町	333.0%
10	由利本荘市	96.2%	10	山本郡八峰町	2.9	☆10	横手市	320.5%

山形県

2024年度 13PJ 対前年度比 98.2%



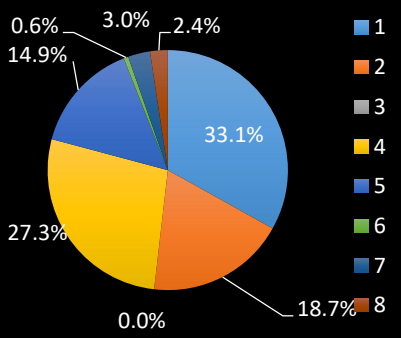
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

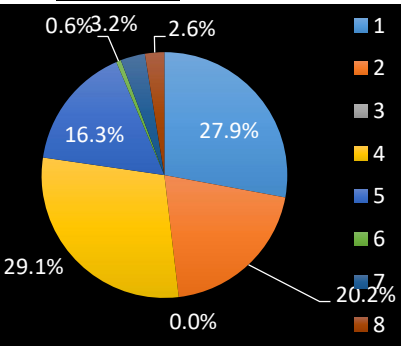
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4PJ	44	38	45	31.7%
○ 2 風力発電	2PJ	13	9	17	19.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	4PJ	14	12	23	28.1%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	32	15	39	15.0%
6 太陽熱利用	0PJ	47	45	45	0.6%
7 地熱利用	0PJ	18	11	24	3.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	42	35	44	2.6%
合計(供給量)	13PJ	42			
再生可能エネルギー自給率			20.1%	再エネ自給率ランク	32
食料自給率			137.7%	食料自給率ランク	3
供給密度(TJ/km ²)			1.353	供給密度ランク	46
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			63PJ		
区域面積			9,323km2		

2023年度 13PJ 対前年度比 108.6%



2022年度 12PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	232.9%	1	飽海郡遊佐町	4.7	☆1	最上郡鮭川村	600.6%
☆2	最上郡大蔵村	141.7%	2	東置賜郡川西町	4.5	☆2	東置賜郡川西町	519.9%
☆3	飽海郡遊佐町	136.7%	3	酒田市	3.7	☆3	東田川郡三川町	503.8%
☆4	西村山郡朝日町	131.1%	4	東田川郡庄内町	2.8	☆4	西置賜郡飯豊町	481.7%
☆5	東置賜郡川西町	101.9%	5	新庄市	2.5	☆5	東田川郡庄内町	468.5%
6	東田川郡庄内町	74.4%	6	山形市	2.4	☆6	尾花沢市	407.2%
7	酒田市	35.5%	7	天童市	1.9	☆7	最上郡戸沢村	405.4%
8	鶴岡市	30.1%	8	西村山郡朝日町	1.7	☆8	最上郡金山町	404.53%
9	最上郡最上町	27.6%	9	米沢市	1.7	☆9	最上郡大蔵村	363.6%
10	東置賜郡高畠町	27.3%	10	鶴岡市	1.7	☆10	最上郡舟形町	357.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

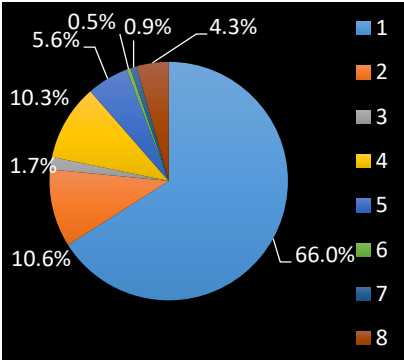
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

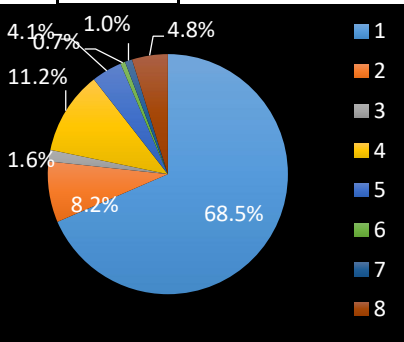
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

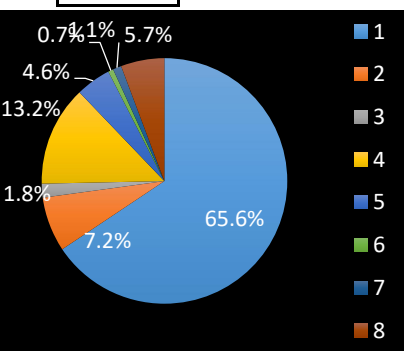
2024年度 63PJ 対前年度比 109.2%



2023年度 57PJ 対前年度比 116.9%



2022年度 49PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	41PJ	6	4	25	66.0%
○ 2 風力発電	7PJ	4	5	7	10.6%
3 地熱発電	1PJ	6	5	6	1.7%
○ 4 小水力発電	6PJ	6	11	17	10.3%
5 バイオマス発電	4PJ	14	13	34	5.6%
6 太陽熱利用	0PJ	34	31	39	0.5%
7 地熱利用	1PJ	14	16	26	0.9%
8.バイオマス熱利用	3PJ	7	6	20	4.3%
合計(供給量)	63PJ	3			
再生可能エネルギー自給率			57.5%	再エネ自給率ランク	2
食料自給率			80.7%	食料自給率ランク	7
供給密度(TJ/km ²)			4.536	供給密度ランク	23
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				109PJ	
区域面積				13,784km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	双葉郡川内村	737.8%	1	西白河郡矢吹町	21.4	☆1	河沼郡湯川村	744.9%
☆2	河沼郡柳津町	619.7%	2	西白河郡西郷村	18.4	☆2	河沼郡会津坂下町	422.2%
☆3	南会津郡下郷町	362.4%	3	双葉郡富岡町	17.1	☆3	耶麻郡猪苗代町	394.1%
☆4	西白河郡西郷村	290.0%	4	白河市	12.5	☆4	大沼郡会津美里町	365.5%
☆5	耶麻郡磐梯町	273.7%	5	相馬市	11.7	☆5	岩瀬郡天栄村	346.6%
☆6	東白川郡鮫川村	261.1%	6	南相馬市	10.1	☆6	喜多方市	271.5%
☆7	田村郡小野町	206.1%	7	本宮市	9.9	☆7	耶麻郡磐梯町	266.2%
☆8	双葉郡楢葉町	186.5%	8	岩瀬郡鏡石町	9.3	☆8	西白河郡泉崎村	257.42%
☆9	田村市	158.5%	9	相馬郡飯舘村	9.1	☆9	西白河郡中島村	255.8%
☆10	西白河郡矢吹町	146.0%	10	いわき市	7.8	☆10	大沼郡昭和村	251.0%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

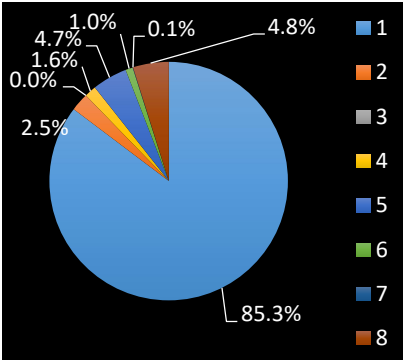
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2024年度 73PJ 対前年度比 91.6%



再生可能エネルギー供給状況

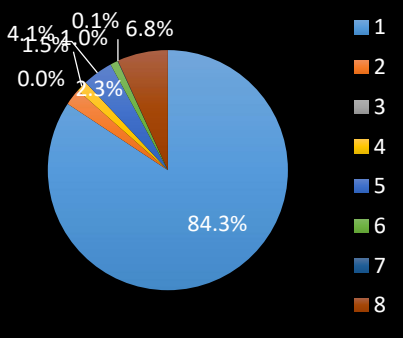
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

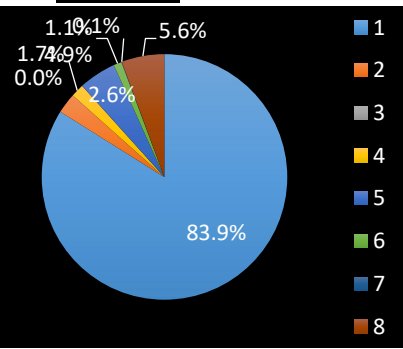
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	63PJ	1	5	1	85.3%
2 風力発電	2PJ	15	23	15	2.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	33	36	35	1.6%
5 バイオマス発電	3PJ	15	26	12	4.7%
6 太陽熱利用	1PJ	21	29	21	1.0%
7 地熱利用	0PJ	38	38	39	0.1%
8.バイオマス熱利用	4PJ	4	7	7	4.8%
合計(供給量)	73PJ	2			
再生可能エネルギー自給率			43.0%	再エネ自給率ランク	11
食料自給率			68.4%	食料自給率ランク	12
供給密度(TJ/km ²)			12.018	供給密度ランク	3
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			171PJ		
区域面積			6,097km2		

2023年度 80PJ 対前年度比 118.2%



2022年度 68PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	行方市	153.3%	1	神栖市	36.4	☆1	稲敷郡河内町	510.2%
☆2	久慈郡大子町	137.3%	2	ひたちなか市	25.5	☆2	鉾田市	392.6%
☆3	北茨城市	134.2%	3	牛久市	22.3	☆3	行方市	371.4%
☆4	桜川市	126.7%	4	水戸市	19.1	☆4	稲敷市	320.9%
☆5	稲敷市	116.7%	5	古河市	18.0	☆5	結城郡八千代町	225.1%
6	常陸大宮市	98.5%	6	鹿嶋市	17.8	☆6	東茨城郡茨城町	169.4%
7	高萩市	97.2%	7	那珂市	17.7	☆7	北茨城市	164.8%
8	常陸太田市	93.2%	8	つくば市	16.7	☆8	猿島郡五霞町	146.89%
9	神栖市	92.8%	9	稲敷郡阿見町	16.5	☆9	筑西市	139.6%
10	東茨城郡城里町	83.4%	10	土浦市	16.0	☆10	桜川市	137.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

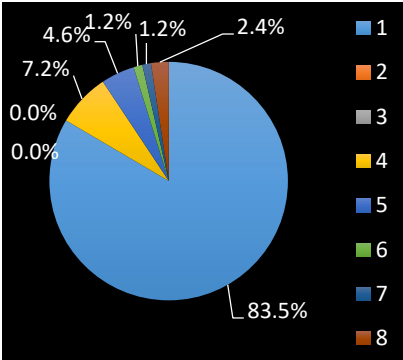
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

2024年度 54PJ 対前年度比 102.8%



再生可能エネルギー供給状況

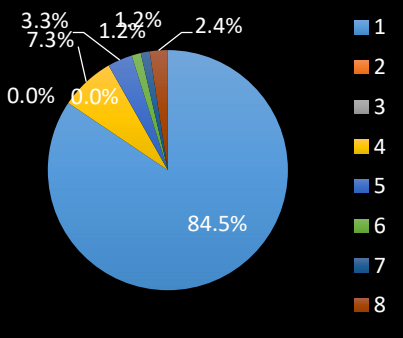
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

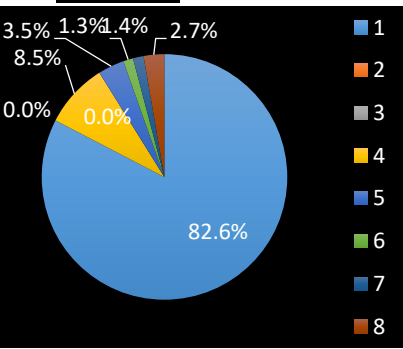
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	45PJ	3	2	7	83.5%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	4PJ	12	18	12	7.2%
5 バイオマス発電	2PJ	24	23	23	4.6%
6 太陽熱利用	1PJ	26	25	27	1.2%
7 地熱利用	1PJ	10	14	11	1.2%
8.バイオマス熱利用	1PJ	19	22	19	2.4%
合計(供給量)	54PJ	7			
再生可能エネルギー自給率			48.4%	再エネ自給率ランク	8
食料自給率			66.8%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			8.372	供給密度ランク	9
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			111PJ		
区域面積			6,408km2		

2023年度 52PJ 対前年度比 115.8%



2022年度 45PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	那須烏山市	256.7%	1	下都賀郡壬生町	17.9	☆1	芳賀郡芳賀町	291.7%
☆2	塩谷郡塩谷町	209.4%	2	足利市	16.8	☆2	塩谷郡塩谷町	283.1%
☆3	那須郡那珂川町	166.9%	3	那須烏山市	16.7	☆3	那須郡那須町	235.5%
☆4	芳賀郡市貝町	134.2%	4	宇都宮市	14.9	☆4	大田原市	196.9%
☆5	那須郡那須町	122.1%	5	佐野市	12.4	☆5	芳賀郡市貝町	185.8%
☆6	日光市	106.4%	6	芳賀郡市貝町	12.2	☆6	塩谷郡高根沢町	173.6%
☆7	那須塩原市	101.1%	7	那須塩原市	11.5	☆7	那須郡那珂川町	165.9%
8	矢板市	88.0%	8	下都賀郡野木町	11.0	☆8	さくら市	150.64%
9	大田原市	77.8%	9	小山市	10.8	☆9	芳賀郡茂木町	141.7%
10	芳賀郡益子町	76.6%	10	栃木市	10.7	☆10	那須塩原市	131.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

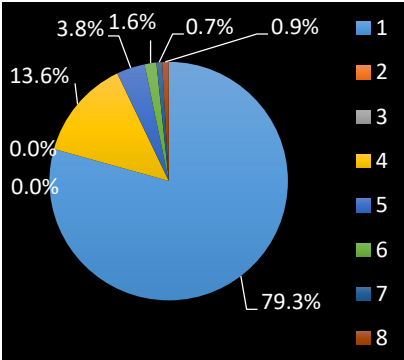
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

2024年度 51PJ 対前年度比 97.2%

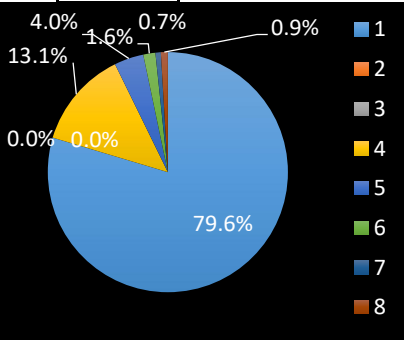


再生可能エネルギー供給状況

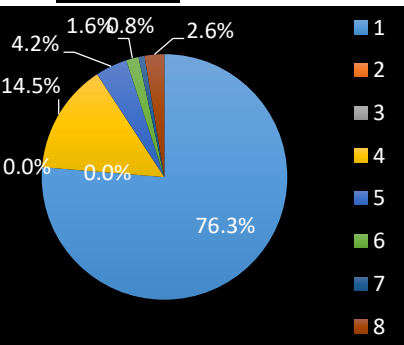
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2023年度 53PJ 対前年度比 111.0%



2022年度 48PJ



PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	41PJ	8	3	9	79.3%
2 風力発電	0PJ	37	37	37	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	5	9	3	13.6%
5 バイオマス発電	2PJ	31	28	27	3.8%
6 太陽熱利用	1PJ	18	14	17	1.6%
7 地熱利用	0PJ	17	20	18	0.7%
8.バイオマス熱利用	0PJ	39	40	38	0.9%
合計(供給量)	51PJ	10			
再生可能エネルギー自給率			49.3%	再エネ自給率ランク	6
食料自給率			30.6%	食料自給率ランク	30
供給密度(TJ/km ²)			8.083	供給密度ランク	10
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			104PJ		
区域面積			6,362km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	854.0%	1	太田市	26.3	☆1	利根郡昭和村	392.8%
☆2	吾妻郡嬭恋村	280.5%	2	伊勢崎市	25.8	☆2	吾妻郡嬭恋村	299.4%
☆3	吾妻郡高山村	262.4%	3	邑楽郡大泉町	25.7	☆3	邑楽郡板倉町	237.0%
☆4	多野郡神流町	258.0%	4	前橋市	23.7	☆4	吾妻郡長野原町	213.3%
☆5	吾妻郡東吾妻町	236.2%	5	邑楽郡千代田町	19.8	☆5	利根郡川場村	156.6%
☆6	利根郡昭和村	210.2%	6	邑楽郡邑楽町	19.5	☆6	吾妻郡東吾妻町	127.4%
☆7	吾妻郡中之条町	176.1%	7	安中市	14.4	☆7	吾妻郡高山村	108.4%
☆8	吾妻郡長野原町	164.0%	8	佐波郡玉村町	13.8	☆8	邑楽郡千代田町	105.49%
☆9	安中市	158.6%	9	館林市	13.7	9	邑楽郡明和町	84.5%
☆10	利根郡みなかみ町	144.4%	10	高崎市	13.4	10	利根郡片品村	82.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

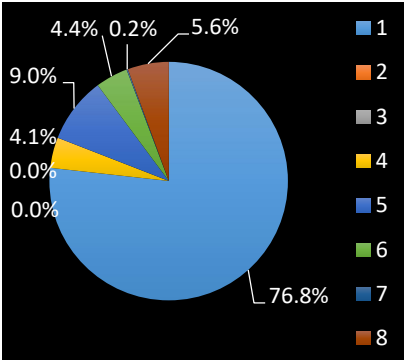
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

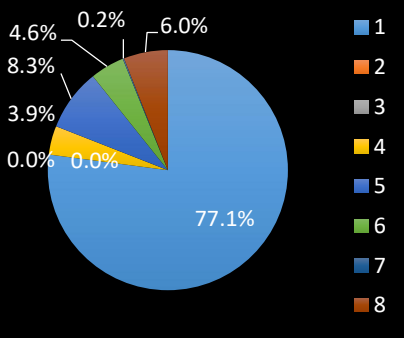
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

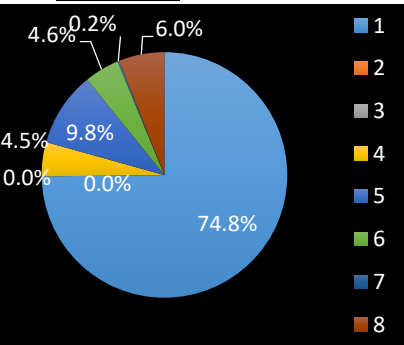
2024年度 38PJ 対前年度比 94.6%



2023年度 41PJ 対前年度比 116.2%



2022年度 35PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

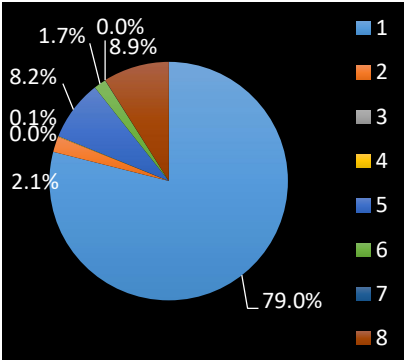
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	29PJ	14	36	5	76.8%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	28	40	20	4.1%
5 バイオマス発電	3PJ	16	42	6	9.0%
6 太陽熱利用	2PJ	3	28	4	4.4%
7 地熱利用	0PJ	34	41	34	0.2%
8.バイオマス熱利用	2PJ	11	32	8	5.6%
合計(供給量)	38PJ	19			
再生可能エネルギー自給率			11.2%	再エネ自給率ランク	42
食料自給率			9.2%	食料自給率ランク	44
供給密度(TJ/km ²)			10.091	供給密度ランク	7
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				341PJ	
区域面積				3,798km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

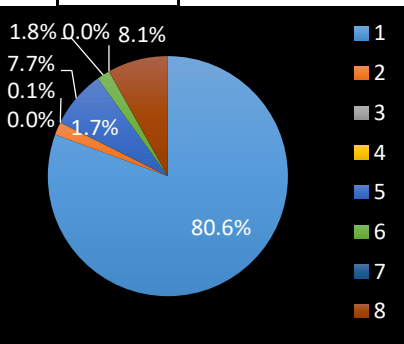
再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	秩父郡長瀬町	114.7%	1	ふじみ野市	28.2	☆1	比企郡川島町	101.2%
2	児玉郡美里町	91.6%	2	三郷市	21.2	2	児玉郡美里町	94.5%
3	秩父市	85.8%	3	戸田市	19.6	3	比企郡吉見町	84.1%
4	比企郡吉見町	78.6%	4	川口市	19.3	4	加須市	77.4%
5	児玉郡神川町	69.3%	5	所沢市	18.2	5	羽生市	52.7%
6	比企郡鳩山町	69.2%	6	さいたま市	17.9	6	児玉郡上里町	47.6%
7	比企郡滑川町	42.4%	7	蕨市	17.9	7	行田市	47.4%
8	比企郡川島町	39.8%	8	熊谷市	17.7	8	児玉郡神川町	42.63%
9	大里郡寄居町	35.7%	9	比企郡鳩山町	17.0	9	北葛飾郡杉戸町	41.2%
10	羽生市	35.6%	10	羽生市	16.9	10	幸手市	38.4%

千葉県

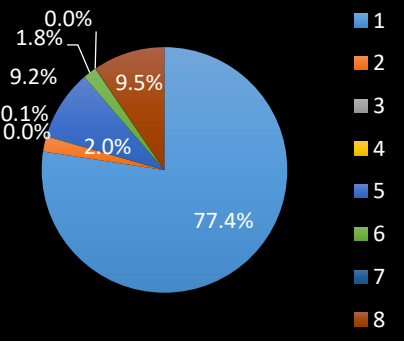
2024年度 59PJ 対前年度比 96.1%



2023年度 61PJ 対前年度比 116.6%



2022年度 52PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

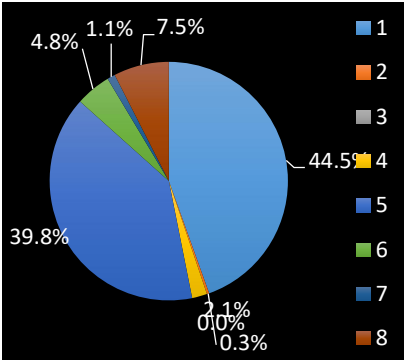
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	46PJ	2	29	2	79.0%
2 風力発電	1PJ	20	27	20	2.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	46	45	46	0.1%
5 バイオマス発電	5PJ	9	33	5	8.2%
6 太陽熱利用	1PJ	11	35	9	1.7%
7 地熱利用	0PJ	43	45	43	0.0%
8.バイオマス熱利用	5PJ	2	12	2	8.9%
合計(供給量)	59PJ	5			
再生可能エネルギー自給率			17.2%	再生エネ自給率ランク	36
食料自給率			23.5%	食料自給率ランク	35
供給密度(TJ/km ²)			11.360	供給密度ランク	5
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			341PJ		
区域面積			5,157km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

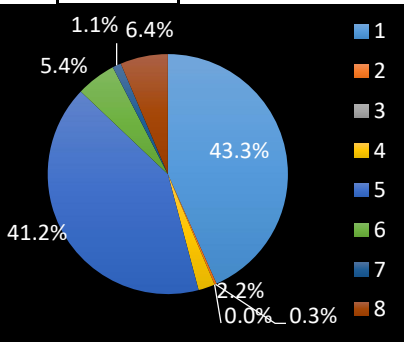
再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	香取郡神崎町	159.2%	1	流山市	24.8	☆1	香取郡多古町	280.5%
☆2	勝浦市	123.5%	2	市原市	23.7	☆2	香取市	247.6%
☆3	長生郡長南町	120.9%	3	長生郡長生村	22.3	☆3	匝瑳市	226.4%
4	長生郡長柄町	79.0%	4	八街市	21.4	☆4	山武郡芝山町	223.3%
5	富津市	77.4%	5	香取郡神崎町	21.3	☆5	山武郡横芝光町	214.1%
6	長生郡睦沢町	72.2%	6	野田市	21.0	☆6	香取郡東庄町	210.1%
7	夷隅郡大多喜町	71.7%	7	袖ヶ浦市	20.3	☆7	長生郡長南町	200.7%
8	夷隅郡御宿町	71.5%	8	船橋市	20.0	☆8	香取郡神崎町	179.52%
9	山武郡芝山町	71.5%	9	印旛郡酒々井町	19.5	☆9	旭市	172.0%
10	長生郡長生村	68.7%	10	市川市	19.5	☆10	長生郡白子町	155.7%

東京都

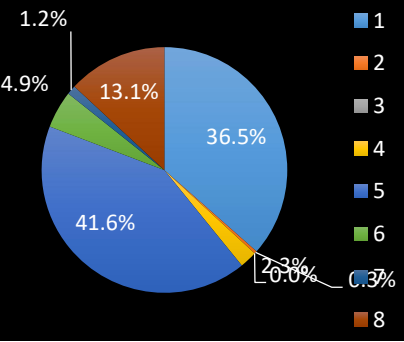
2024年度 25PJ 対前年度比 107.2%



2023年度 23PJ 対前年度比 102.7%



2022年度 22PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	33	47	12	44.5%
2 風力発電	0PJ	34	36	32	0.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	40	44	31	2.1%
◎ 5 バイオマス発電	10PJ	2	41	1	39.8%
6 太陽熱利用	1PJ	8	44	3	4.8%
7 地熱利用	0PJ	24	40	8	1.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	15	45	4	7.5%
合計(供給量)	25PJ	28			
再生可能エネルギー自給率			2.6%	再エネ自給率ランク	47
食料自給率			0.4%	食料自給率ランク	47
供給密度(TJ/km ²)			11.354	供給密度ランク	6
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				947PJ	
区域面積				2,181km2	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西多摩郡奥多摩町	117.8%	1	目黒区	74.0	☆1	青ヶ島村	859.6%
2	稲城市	26.5%	2	稲城市	65.0	2	八丈町	33.3%
3	神津島村	25.2%	3	中央区	45.4	3	神津島村	17.5%
4	新島村	18.0%	4	東久留米市	41.7	4	あきる野市	15.4%
5	八丈町	14.5%	5	江東区	38.2	5	利島村	13.2%
6	御蔵島村	12.4%	6	練馬区	33.3	6	小笠原村	9.3%
7	東久留米市	11.9%	7	豊島区	32.2	7	三宅村	7.4%
8	羽村市	11.6%	8	港区	32.1	8	西多摩郡瑞穂町	7.17%
9	三宅村	10.9%	9	杉並区	29.9	9	新島村	7.1%
10	大島町	10.0%	10	品川区	29.5	10	御蔵島村	5.6%

神奈川県

2024年度 31PJ 対前年度比 97.3%

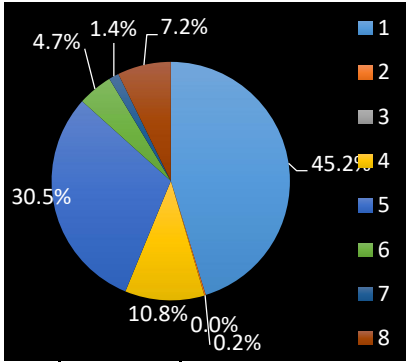
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

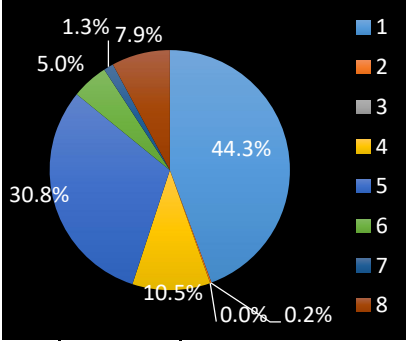
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

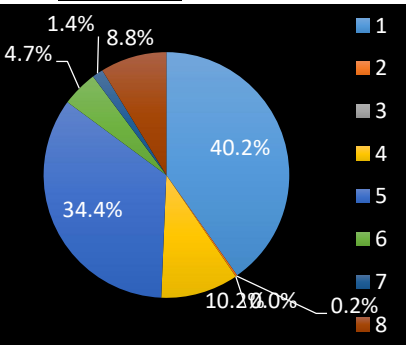
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率 率ランク	供給密度ラ ンク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14PJ	24	46	11	45.2%
2 風力発電	0PJ	35	35	33	0.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	17	35	2	10.8%
◎ 5 バイオマス発電	9PJ	3	27	3	30.5%
6 太陽熱利用	1PJ	5	33	2	4.7%
7 地熱利用	0PJ	15	29	5	1.4%
8.バイオマス熱利用	2PJ	9	38	3	7.2%
合計(供給量)	31PJ	25			
再生可能エネルギー自給率			6.6%	再エネ自給率 ランク	45
食料自給率			1.7%	食料自給率ラ ンク	45
供給密度(TJ/km ²)			12.808	供給密度ラン ク	2
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			468PJ		
区域面積			2,416km2		



2023年度 32PJ 対前年度比 108.5%



2022年度 29PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	357.3%	1	川崎市	48.8	1	三浦市	60.8%
2	足柄下郡箱根町	50.1%	2	茅ヶ崎市	27.6	2	愛甲郡清川村	51.0%
3	足柄上郡中井町	36.5%	3	大和市	23.7	3	足柄上郡中井町	15.8%
4	足柄上郡大井町	31.3%	4	座間市	21.3	4	足柄上郡開成町	11.1%
5	南足柄市	28.5%	5	足柄上郡大井町	18.3	5	足柄上郡大井町	10.0%
6	足柄下郡湯河原町	11.6%	6	横須賀市	17.4	6	足柄下郡真鶴町	9.6%
7	愛甲郡愛川町	11.6%	7	海老名市	16.1	7	伊勢原市	9.2%
8	茅ヶ崎市	9.9%	8	藤沢市	16.1	8	南足柄市	8.15%
9	横須賀市	9.4%	9	平塚市	15.9	9	愛甲郡愛川町	6.5%
10	川崎市	9.2%	10	横浜市	15.5	10	小田原市	5.8%

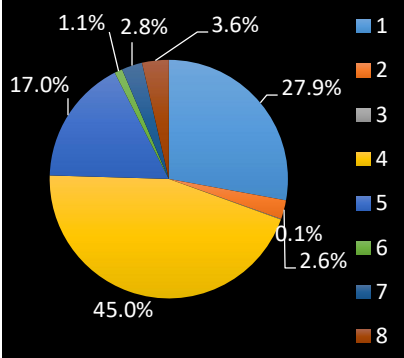
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

2024年度 21PJ 対前年度比 101.6%



再生可能エネルギー供給状況

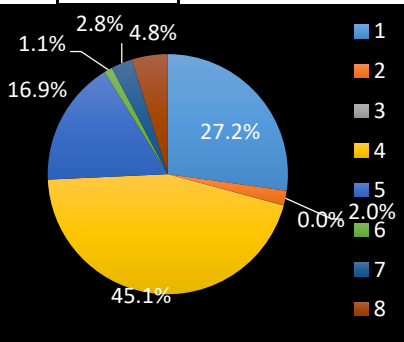
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

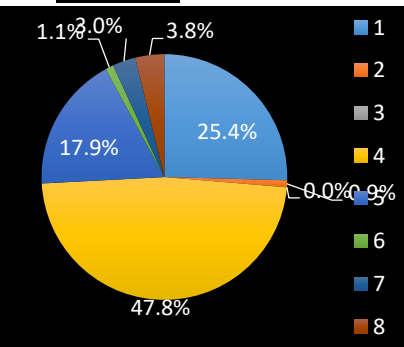
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6PJ	40	44	44	27.9%
2 風力発電	1PJ	28	26	31	2.6%
3 地熱発電	0PJ	10	10	11	0.1%
◎ 4 小水力発電	9PJ	3	5	8	45.0%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	13	17	31	17.0%
6 太陽熱利用	0PJ	39	39	42	1.1%
7 地熱利用	1PJ	11	18	23	2.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	29	33	39	3.6%
合計(供給量)	21PJ	30			
再生可能エネルギー自給率			16.7%	再エネ自給率ランク	37
食料自給率			110.8%	食料自給率ランク	5
供給密度(TJ/km ²)			1.649	供給密度ランク	45
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			124PJ		
区域面積			12,584km2		

2023年度 20PJ 対前年度比 106.2%



2022年度 19PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	222.1%	1	阿賀野市	6.4	☆1	岩船郡関川村	389.3%
☆2	中魚沼郡津南町	119.7%	2	糸魚川市	6.0	☆2	中魚沼郡津南町	389.1%
3	妙高市	91.3%	3	新潟市	5.0	☆3	阿賀野市	274.1%
4	東蒲原郡阿賀町	88.1%	4	胎内市	4.3	☆4	西蒲原郡弥彦村	225.6%
5	胎内市	77.7%	5	中魚沼郡津南町	3.3	☆5	胎内市	217.4%
6	魚沼市	69.0%	6	妙高市	3.3	☆6	佐渡市	213.4%
7	阿賀野市	68.0%	7	北蒲原郡聖籠町	2.8	☆7	村上市	205.9%
8	南魚沼郡湯沢町	60.3%	8	五泉市	2.0	☆8	南魚沼市	191.38%
9	五泉市	31.1%	9	南魚沼市	1.6	☆9	刈羽郡刈羽村	184.6%
10	三島郡出雲崎町	28.4%	10	三条市	1.5	☆10	新発田市	177.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

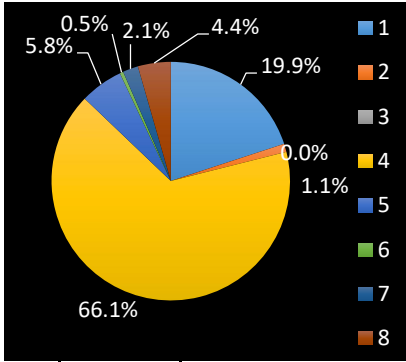
2024年度 20PJ 対前年度比 92.5%

再生可能エネルギー供給状況

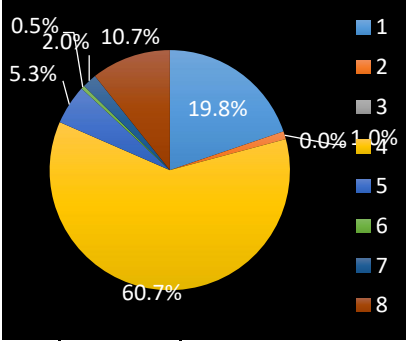
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

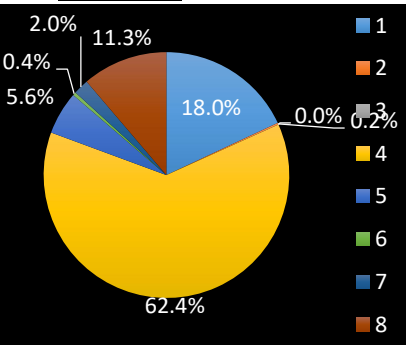
PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率 率ランク	供給密度ラ ンク	供給比率
○ 1 太陽光発電	4PJ	45	41	40	19.9%
2 風力発電	0PJ	31	28	30	1.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	13PJ	2	1	1	66.1%
5 バイオマス発電	1PJ	37	29	32	5.8%
6 太陽熱利用	0PJ	44	41	41	0.5%
7 地熱利用	0PJ	16	12	10	2.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	25	20	16	4.4%
合計(供給量)	20PJ	31			
再生可能エネルギー自給率			28.4%	再エネ自給率 率ランク	25
食料自給率			72.8%	食料自給率ラ ンク	10
供給密度(TJ/km ²)			4.681	供給密度ラン ク	22
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			70PJ		
区域面積			4,248km2		



2023年度 22PJ 対前年度比 103.2%



2022年度 21PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	137.7%	1	滑川市	15.8	☆1	下新川郡入善町	294.3%
2	中新川郡立山町	93.6%	2	魚津市	9.9	☆2	南砺市	207.9%
3	魚津市	76.9%	3	下新川郡入善町	8.9	☆3	下新川郡朝日町	200.0%
4	中新川郡上市町	68.9%	4	高岡市	7.8	☆4	小矢部市	161.1%
5	黒部市	65.0%	5	射水市	7.4	☆5	中新川郡立山町	160.3%
6	滑川市	49.8%	6	富山市	6.7	☆6	砺波市	129.7%
7	下新川郡入善町	45.3%	7	下新川郡朝日町	4.3	7	黒部市	94.7%
8	富山市	27.3%	8	中新川郡立山町	3.9	8	中新川郡上市町	93.81%
9	小矢部市	17.6%	9	黒部市	3.7	9	中新川郡舟橋村	87.7%
10	射水市	14.2%	10	中新川郡舟橋村	3.3	10	氷見市	84.4%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

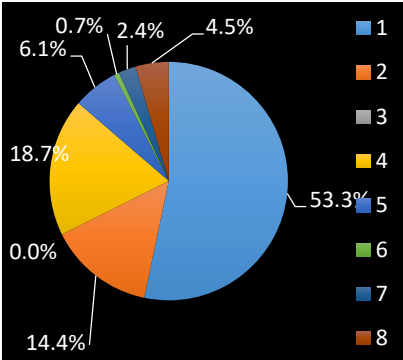
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

2024年度 14PJ 対前年度比 96.0%



再生可能エネルギー供給状況

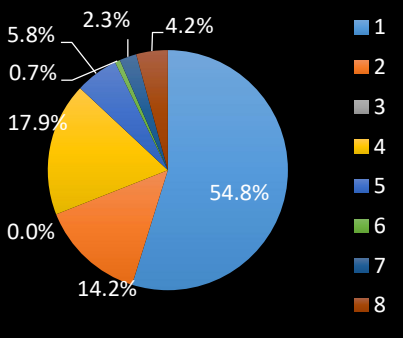
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

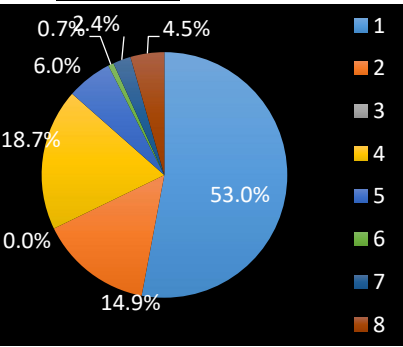
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	38	34	34	53.3%
○ 2 風力発電	2PJ	14	14	6	14.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	22	17	10	18.7%
5 バイオマス発電	1PJ	41	38	36	6.1%
6 太陽熱利用	0PJ	43	42	40	0.7%
7 地熱利用	0PJ	19	19	13	2.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	32	26	25	4.5%
合計(供給量)	14PJ	40			
再生可能エネルギー自給率			19.2%	再エネ自給率ランク	34
食料自給率			42.8%	食料自給率ランク	21
供給密度(TJ/km ²)			3.420	供給密度ランク	33
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			75PJ		
区域面積			4,186km2		

2023年度 15PJ 対前年度比 104.0%



2022年度 14PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	206.2%	1	羽咋郡宝達志水町	11.8	☆1	羽咋郡志賀町	207.1%
☆2	鳳珠郡穴水町	127.7%	2	野々市市	8.5	☆2	能美郡川北町	185.7%
☆3	珠洲市	119.0%	3	七尾市	5.8	☆3	羽咋市	153.6%
☆4	羽咋郡志賀町	106.3%	4	かほく市	5.6	☆4	羽咋郡宝達志水町	152.8%
5	七尾市	50.2%	5	羽咋郡志賀町	5.5	☆5	鹿島郡中能登町	119.6%
6	白山市	38.2%	6	河北郡内灘町	5.2	☆6	鳳珠郡能登町	109.4%
7	鹿島郡中能登町	32.5%	7	能美郡川北町	5.2	7	珠洲市	82.7%
8	羽咋市	29.2%	8	羽咋市	4.2	8	七尾市	82.50%
9	輪島市	28.2%	9	鳳珠郡穴水町	3.9	9	加賀市	80.9%
10	能美郡川北町	26.7%	10	金沢市	3.9	10	輪島市	71.1%

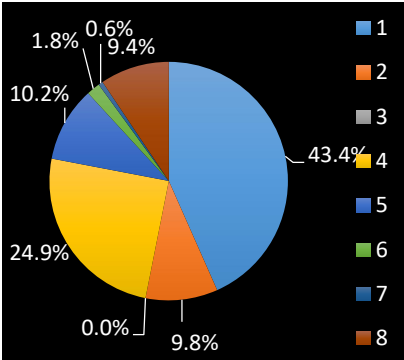
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2024年度 7PJ 対前年度比 98.3%



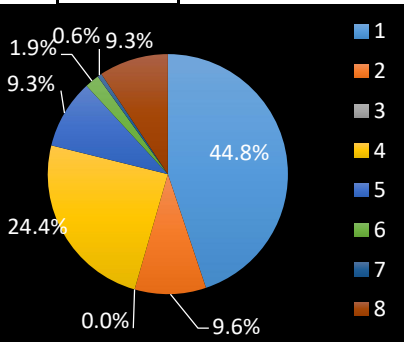
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

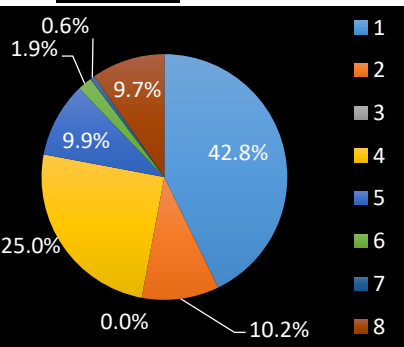
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3PJ	47	40	42	43.4%
2 風力発電	1PJ	25	21	26	9.8%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	2PJ	27	19	19	24.9%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	43	34	41	10.2%
6 太陽熱利用	0PJ	41	36	38	1.8%
7 地熱利用	0PJ	39	30	38	0.6%
8.バイオマス熱利用	1PJ	31	17	22	9.4%
合計(供給量)	7PJ	46			
再生可能エネルギー自給率			13.7%	再エネ自給率ランク	41
食料自給率			64.4%	食料自給率ランク	14
供給密度(TJ/km ²)			1.735	供給密度ランク	44
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			53PJ		
区域面積			4,191km2		

2023年度 7PJ 対前年度比 105.8%



2022年度 7PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	74.3%	1	あわら市	8.7	☆1	今立郡池田町	184.8%
2	あわら市	54.6%	2	坂井市	5.7	☆2	大野市	177.0%
3	今立郡池田町	37.6%	3	福井市	3.1	☆3	三方上中郡若狭町	158.2%
4	勝山市	30.0%	4	鯖江市	2.5	☆4	あわら市	141.0%
5	坂井市	23.8%	5	大野市	1.7	☆5	南条郡南越前町	129.1%
6	三方郡美浜町	16.7%	6	勝山市	1.5	☆6	三方郡美浜町	103.8%
7	三方上中郡若狭町	11.2%	7	敦賀市	1.5	7	大飯郡おおい町	99.5%
8	南条郡南越前町	8.8%	8	越前市	1.4	8	勝山市	98.58%
9	福井市	7.9%	9	吉田郡永平寺町	0.8	9	坂井市	98.3%
10	敦賀市	7.8%	10	三方郡美浜町	0.8	10	丹生郡越前町	81.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

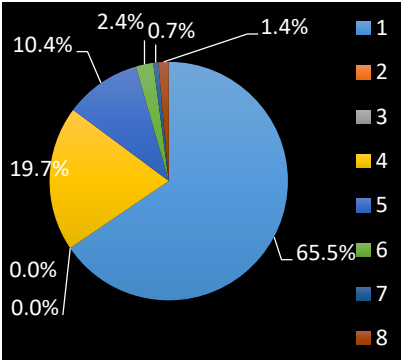
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2024年度 17PJ 対前年度比 97.9%



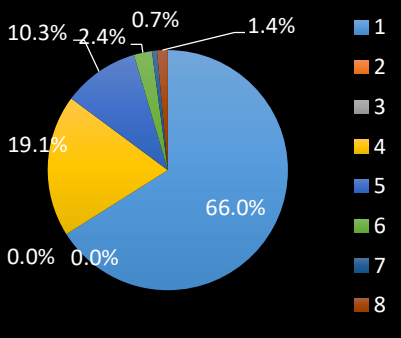
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

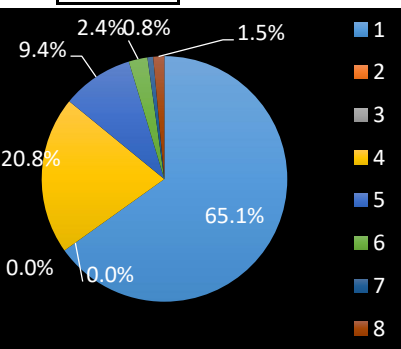
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11PJ	32	12	28	65.5%
2 風力発電	0PJ	40	40	40	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	16	6	7	19.7%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	33	10	19	10.4%
6 太陽熱利用	0PJ	31	11	29	2.4%
7 地熱利用	0PJ	31	24	29	0.7%
8 バイオマス熱利用	0PJ	43	36	40	1.4%
合計(供給量)	17PJ	34			
再生可能エネルギー自給率			38.1%	再エネ自給率ランク	14
食料自給率			17.8%	食料自給率ランク	37
供給密度(TJ/km ²)			3.840	供給密度ランク	28
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			45PJ		
区域面積			4,461km2		

2023年度 17PJ 対前年度比 108.5%



2022年度 16PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	1144.0%	1	甲斐市	24.9	☆1	北杜市	102.6%
☆2	北杜市	130.6%	2	中巨摩郡昭和町	21.7	2	韮崎市	52.7%
☆3	大月市	116.2%	3	南都留郡忍野村	10.5	3	甲州市	25.6%
4	韮崎市	70.6%	4	中央市	10.5	4	南巨摩郡南部町	25.0%
5	南都留郡忍野村	65.0%	5	甲府市	7.6	5	中央市	22.3%
6	甲州市	64.3%	6	韮崎市	6.9	6	南巨摩郡身延町	22.2%
7	南都留郡鳴沢村	57.9%	7	笛吹市	5.7	7	南都留郡富士河口湖町	19.9%
8	山梨市	53.5%	8	北杜市	5.5	8	北都留郡丹波山村	19.38%
9	甲斐市	51.5%	9	南アルプス市	4.9	9	南アルプス市	17.9%
10	南アルプス市	45.1%	10	大月市	4.2	10	山梨市	17.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

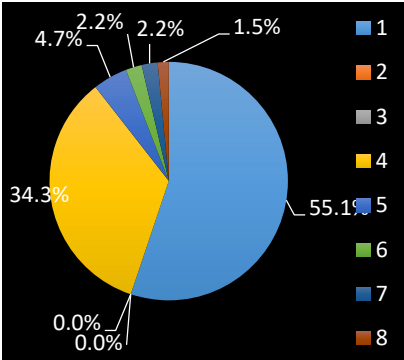
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

2024年度 43PJ 対前年度比 98.2%



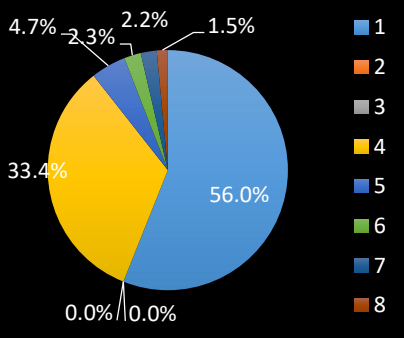
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

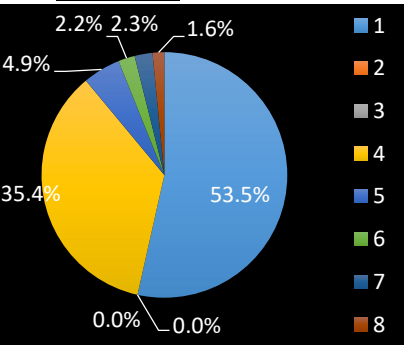
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	23PJ	18	19	36	55.1%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	15PJ	1	2	4	34.3%
5 バイオマス発電	2PJ	30	30	43	4.7%
6 太陽熱利用	1PJ	13	16	34	2.2%
7 地熱利用	1PJ	9	7	15	2.2%
8 バイオマス熱利用	1PJ	34	37	42	1.5%
合計(供給量)	43PJ	12			
再生可能エネルギー自給率			34.3%	再エネ自給率ランク	19
食料自給率			48.4%	食料自給率ランク	19
供給密度(TJ/km ²)			3.136	供給密度ランク	37
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			124PJ		
区域面積			13,562km2		

2023年度 43PJ 対前年度比 107.5%



2022年度 40PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡平谷村	1331.6%	1	小諸市	10.8	☆1	南佐久郡川上村	659.4%
☆2	下伊那郡大鹿村	1213.7%	2	諏訪市	10.0	☆2	南佐久郡南牧村	609.5%
☆3	下水内郡栄村	657.5%	3	南佐久郡小海町	8.8	☆3	下水内郡栄村	275.7%
☆4	南佐久郡川上村	399.1%	4	上伊那郡箕輪町	8.4	☆4	下高井郡木島平村	256.0%
☆5	南佐久郡小海町	356.8%	5	北佐久郡御代田町	7.7	☆5	北佐久郡立科町	218.6%
☆6	下伊那郡阿智村	285.0%	6	上伊那郡南箕輪村	6.5	☆6	北安曇郡松川村	189.8%
☆7	北安曇郡小谷村	229.5%	7	東御市	6.4	☆7	上水内郡信濃町	180.7%
☆8	下伊那郡阿南町	228.3%	8	上高井郡小布施町	5.8	☆8	飯山市	172.99%
☆9	下伊那郡泰阜村	227.8%	9	安曇野市	5.6	☆9	諏訪郡原村	155.3%
☆10	小県郡長和町	200.8%	10	駒ヶ根市	5.5	☆10	南佐久郡北相木村	150.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

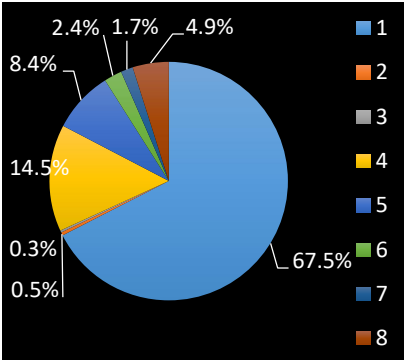
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

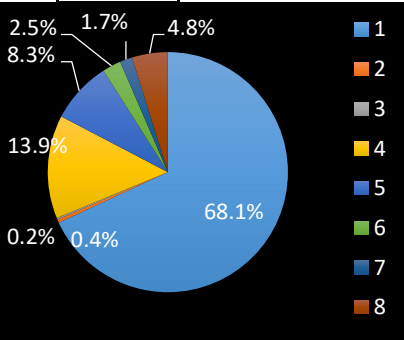
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

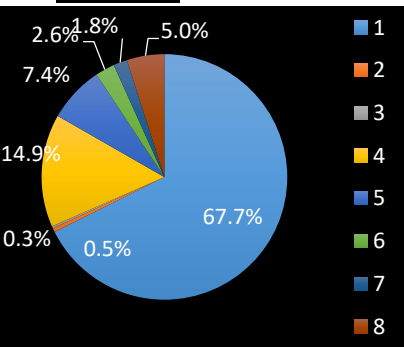
2024年度 34PJ 対前年度比 98.6%



2023年度 35PJ 対前年度比 110.0%



2022年度 32PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	23PJ	19	17	32	67.5%
2 風力発電	0PJ	32	32	35	0.5%
3 地熱発電	0PJ	9	9	9	0.3%
○ 4 小水力発電	5PJ	9	15	16	14.5%
5 バイオマス発電	3PJ	20	19	33	8.4%
6 太陽熱利用	1PJ	17	17	33	2.4%
7 地熱利用	1PJ	12	15	21	1.7%
8.バイオマス熱利用	2PJ	16	14	24	4.9%
合計(供給量)	34PJ	22			
再生可能エネルギー自給率			30.6%	再エネ自給率ランク	22
食料自給率			23.7%	食料自給率ランク	34
供給密度(TJ/km ²)			3.242	供給密度ランク	36
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				112PJ	
区域面積				10,621km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	加茂郡川辺町	112.6%	1	瑞穂市	46.9	☆1	海津市	168.9%
☆2	美濃市	110.6%	2	可児市	22.2	☆2	安八郡輪之内町	134.8%
☆3	加茂郡富加町	101.9%	3	羽島郡岐南町	21.6	3	養老郡養老町	89.8%
4	恵那市	99.1%	4	本巣郡北方町	21.1	4	加茂郡東白川村	75.3%
5	揖斐郡揖斐川町	98.8%	5	多治見市	16.9	5	加茂郡白川町	66.8%
6	加茂郡白川町	87.6%	6	加茂郡富加町	14.7	6	揖斐郡揖斐川町	63.6%
7	加茂郡八百津町	74.4%	7	各務原市	14.7	7	高山市	56.9%
8	飛騨市	72.7%	8	羽島郡笠松町	14.5	8	郡上市	56.66%
9	本巣市	61.9%	9	加茂郡川辺町	13.6	9	大野郡白川村	52.2%
10	安八郡輪之内町	59.1%	10	安八郡輪之内町	12.7	10	飛騨市	49.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

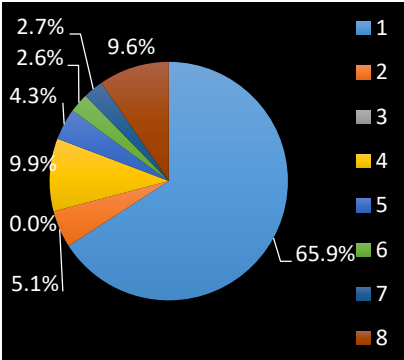
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

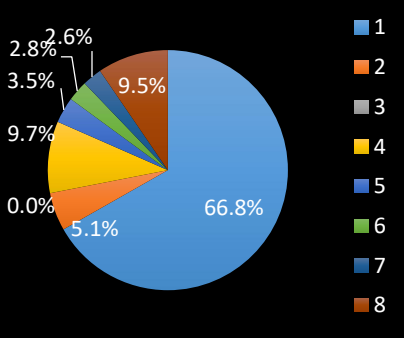
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

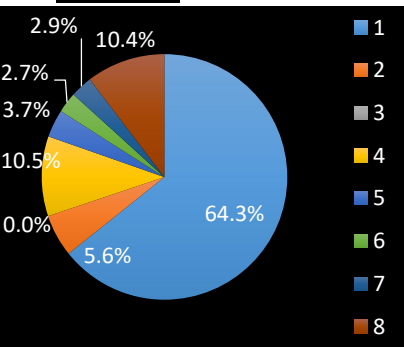
2024年度 56PJ 対前年度比 98.1%



2023年度 57PJ 対前年度比 109.0%



2022年度 52PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

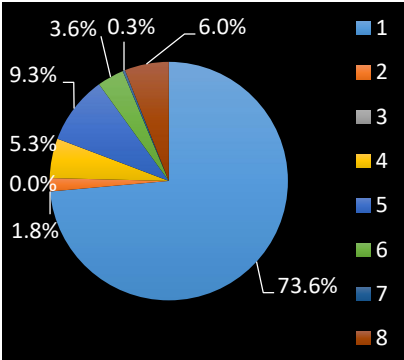
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	37PJ	9	20	15	65.9%
2 風力発電	3PJ	9	20	13	5.1%
3 地熱発電	0PJ	11	12	12	0.0%
4 小水力発電	5PJ	8	24	9	9.9%
5 バイオマス発電	2PJ	27	39	28	4.3%
6 太陽熱利用	1PJ	4	19	11	2.6%
7 地熱利用	1PJ	5	9	3	2.7%
8.バイオマス熱利用	5PJ	1	3	6	9.6%
合計(供給量)	56PJ	6			
再生可能エネルギー自給率			27.2%	再エネ自給率ランク	26
食料自給率			13.3%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			7.136	供給密度ランク	13
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				204PJ	
区域面積				7,777km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

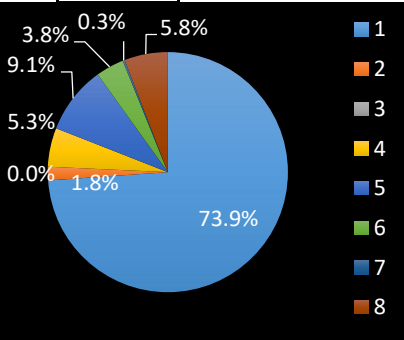
再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡南伊豆町	198.8%	1	湖西市	21.9	1	周智郡森町	47.8%
☆2	賀茂郡河津町	191.1%	2	御前崎市	20.4	2	焼津市	42.6%
☆3	駿東郡小山町	115.0%	3	榛原郡吉田町	19.9	3	御前崎市	36.1%
4	牧之原市	86.8%	4	袋井市	18.3	4	駿東郡小山町	35.3%
5	御前崎市	84.9%	5	焼津市	17.9	5	袋井市	31.6%
6	賀茂郡東伊豆町	68.6%	6	磐田市	16.5	6	菊川市	31.6%
7	榛原郡川根本町	61.6%	7	牧之原市	16.5	7	伊豆市	28.7%
8	島田市	59.4%	8	島田市	14.4	8	富士宮市	28.51%
9	湖西市	57.1%	9	菊川市	13.1	9	掛川市	27.8%
10	富士宮市	55.9%	10	駿東郡清水町	12.7	10	牧之原市	26.3%

愛知県

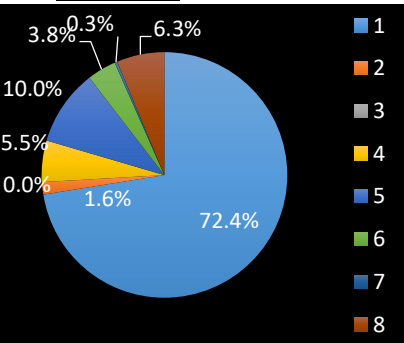
2024年度 60PJ 対前年度比 98.9%



2023年度 61PJ 対前年度比 107.1%



2022年度 57PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	44PJ	4	33	4	73.6%
2 風力発電	1PJ	21	29	21	1.8%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3PJ	20	33	11	5.3%
5 バイオマス発電	6PJ	8	32	4	9.3%
6 太陽熱利用	2PJ	1	26	5	3.6%
7 地熱利用	0PJ	28	36	27	0.3%
8.バイオマス熱利用	4PJ	3	24	5	6.0%
合計(供給量)	60PJ	4			
再生可能エネルギー自給率			15.2%	再エネ自給率ランク	39
食料自給率			10.8%	食料自給率ランク	43
供給密度(TJ/km ²)			11.693	供給密度ランク	4
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				397PJ	
区域面積				5,170km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	114.0%	1	知多郡武豊町	59.6	☆1	海部郡飛鳥村	249.7%
2	知多郡美浜町	94.5%	2	春日井市	28.9	☆2	田原市	137.0%
3	知多郡武豊町	92.9%	3	高浜市	25.3	☆3	知多郡南知多町	124.5%
4	新城市	66.8%	4	名古屋市	24.7	☆4	北設楽郡設楽町	117.6%
5	海部郡飛鳥村	49.5%	5	知多郡東浦町	23.9	5	弥富市	68.6%
6	知多郡阿久比町	38.3%	6	一宮市	23.1	6	愛西市	63.3%
7	知多郡東浦町	38.2%	7	半田市	22.9	7	新城市	51.2%
8	知多郡南知多町	38.2%	8	海部郡大治町	22.8	8	知多郡美浜町	50.65%
9	豊田市	36.9%	9	知多郡美浜町	22.8	9	西尾市	42.1%
10	弥富市	34.9%	10	岩倉市	22.0	10	額田郡幸田町	31.0%

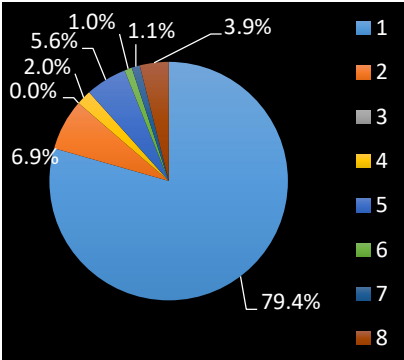
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2024年度 52PJ 対前年度比 98.8%



再生可能エネルギー供給状況

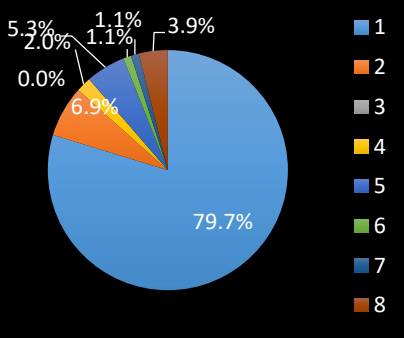
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

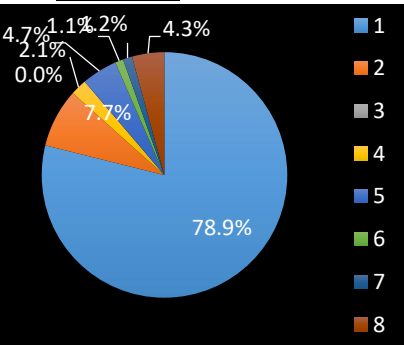
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	41PJ	7	1	6	79.4%
2 風力発電	4PJ	7	11	4	6.9%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	35	31	36	2.0%
5 バイオマス発電	3PJ	19	16	15	5.6%
6 太陽熱利用	1PJ	27	27	28	1.0%
7 地熱利用	1PJ	13	13	12	1.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	12	8	10	3.9%
合計(供給量)	52PJ	9			
再生可能エネルギー自給率			52.5%	再エネ自給率ランク	4
食料自給率			33.9%	食料自給率ランク	26
供給密度(TJ/km ²)			8.952	供給密度ランク	8
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			98PJ		
区域面積			5,774km2		

2023年度 52PJ 対前年度比 111.2%



2022年度 47PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	606.7%	1	三重郡川越町	100.9	☆1	度会郡南伊勢町	171.5%
☆2	多気郡多気町	177.5%	2	四日市市	23.6	☆2	桑名郡木曽岬町	127.7%
☆3	多気郡大台町	173.9%	3	多気郡明和町	22.4	☆3	度会郡玉城町	106.2%
☆4	鳥羽市	126.5%	4	多気郡多気町	21.3	☆4	多気郡多気町	101.4%
☆5	伊賀市	124.7%	5	員弁郡東員町	20.8	5	多気郡明和町	96.7%
6	北牟婁郡紀北町	91.0%	6	鈴鹿市	20.4	6	伊賀市	91.5%
7	多気郡明和町	88.8%	7	度会郡度会町	15.6	7	南牟婁郡御浜町	80.0%
8	いなべ市	87.4%	8	三重郡菰野町	14.1	8	鳥羽市	65.08%
9	度会郡南伊勢町	84.6%	9	三重郡朝日町	13.9	9	度会郡度会町	58.4%
10	三重郡菰野町	82.4%	10	桑名市	13.5	10	北牟婁郡紀北町	56.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

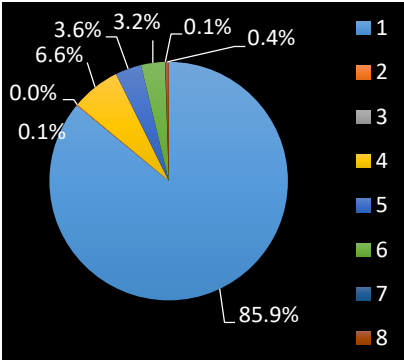
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2024年度 15PJ 対前年度比 103.7%



再生可能エネルギー供給状況

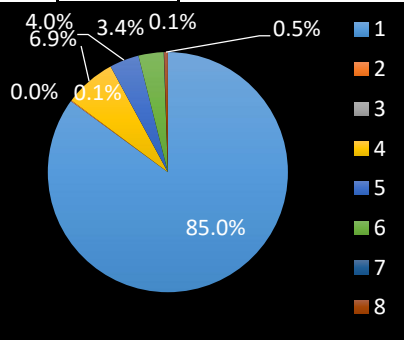
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

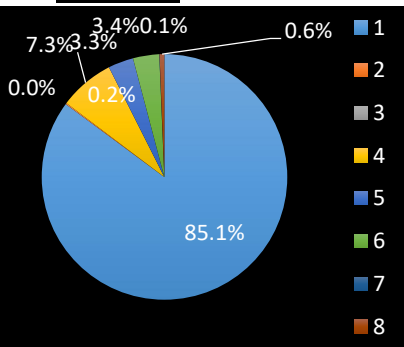
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	27	21	21	85.9%
2 風力発電	0PJ	36	34	36	0.1%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	36	29	30	6.6%
5 バイオマス発電	1PJ	46	47	45	3.6%
6 太陽熱利用	0PJ	28	23	19	3.2%
7 地熱利用	0PJ	45	44	44	0.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	47	46	47	0.4%
合計(供給量)	15PJ	36			
再生可能エネルギー自給率			20.4%	再エネ自給率ランク	31
食料自給率			44.7%	食料自給率ランク	20
供給密度(TJ/km ²)			3.819	供給密度ランク	29
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				75PJ	
区域面積				4,017km ²	

2023年度 15PJ 対前年度比 108.1%



2022年度 14PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	米原市	69.4%	1	草津市	15.4	☆1	蒲生郡竜王町	166.2%
2	蒲生郡日野町	64.0%	2	彦根市	11.2	☆2	犬上郡甲良町	152.6%
3	高島市	49.4%	3	犬上郡豊郷町	10.8	☆3	高島市	124.5%
4	甲賀市	47.5%	4	守山市	10.6	☆4	東近江市	105.3%
5	犬上郡多賀町	42.0%	5	愛知郡愛荘町	9.3	☆5	蒲生郡日野町	103.4%
6	愛知郡愛荘町	37.7%	6	栗東市	9.0	6	愛知郡愛荘町	87.3%
7	蒲生郡竜王町	37.6%	7	犬上郡甲良町	8.1	7	長浜市	83.2%
8	犬上郡甲良町	36.3%	8	湖南市	6.6	8	犬上郡多賀町	79.38%
9	東近江市	32.8%	9	野洲市	6.6	9	近江八幡市	77.5%
10	犬上郡豊郷町	22.8%	10	近江八幡市	6.3	10	犬上郡豊郷町	74.6%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

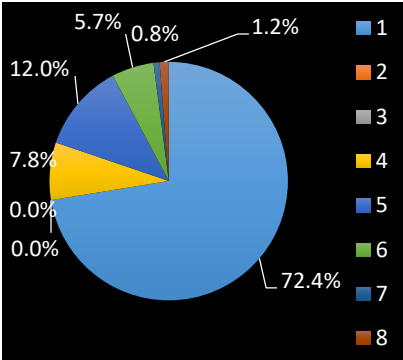
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

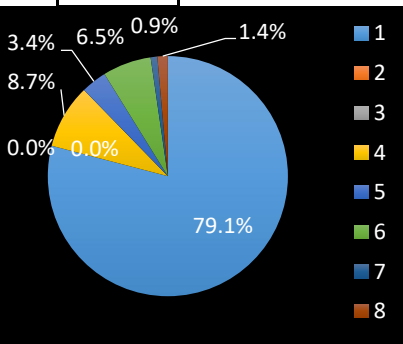
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

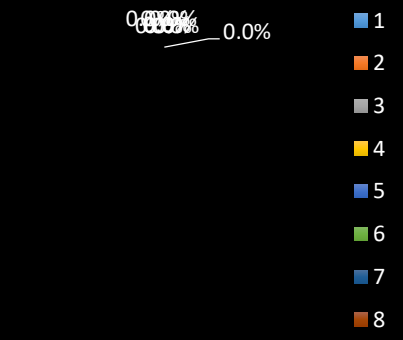
2024年度 11PJ 対前年度比 111.2%



2023年度 10PJ 対前年度比 #####



2022年度 #VALUE!



再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	36	42	35	72.4%
2 風力発電	0PJ	41	41	41	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	38	37	33	7.8%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	35	44	29	12.0%
6 太陽熱利用	1PJ	24	30	14	5.7%
7 地熱利用	0PJ	33	34	33	0.8%
8.バイオマス熱利用	0PJ	46	47	46	1.2%
合計(供給量)	11PJ	44			
再生可能エネルギー自給率			7.4%	再エネ自給率ランク	44
食料自給率			11.7%	食料自給率ランク	42
供給密度(TJ/km ²)			2.504	供給密度ランク	40
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				156PJ	
区域面積				4,585km2	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	185.2%	1	木津川市	92.9	☆1	与謝郡伊根町	223.9%
☆2	相楽郡笠置町	115.7%	2	向日市	12.1	☆2	船井郡京丹波町	149.7%
3	船井郡京丹波町	94.1%	3	城陽市	11.3	☆3	京丹後市	107.4%
4	綴喜郡宇治田原町	56.2%	4	長岡京市	10.5	☆4	南丹市	104.7%
5	南丹市	32.1%	5	相楽郡精華町	9.8	5	綾部市	85.6%
6	綾部市	27.3%	6	八幡市	8.7	6	与謝郡与謝野町	66.7%
7	亀岡市	20.1%	7	京田辺市	8.1	7	相楽郡南山城村	58.9%
8	相楽郡和束町	18.9%	8	宇治市	7.1	8	宮津市	46.37%
9	京丹後市	16.7%	9	久世郡久御山町	6.0	9	相楽郡和束町	38.9%
10	木津川市	15.9%	10	京都市	4.5	10	亀岡市	38.3%

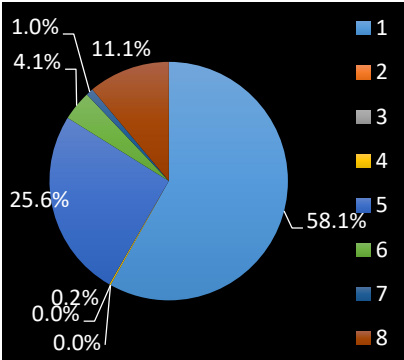
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

2024年度 29PJ 対前年度比 99.1%



再生可能エネルギー供給状況

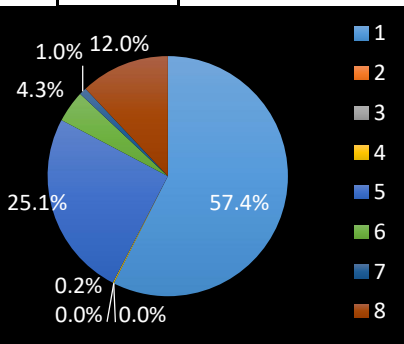
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

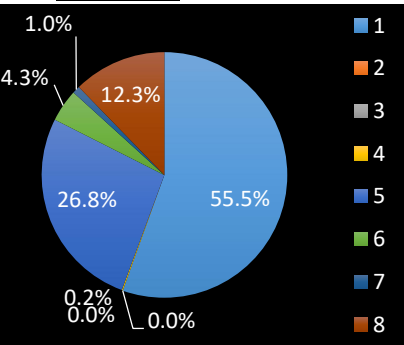
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17PJ	23	45	3	58.1%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	45	46	44	0.2%
◎ 5 バイオマス発電	7PJ	4	35	2	25.6%
6 太陽熱利用	1PJ	9	38	1	4.1%
7 地熱利用	0PJ	22	35	7	1.0%
○ 8.バイオマス熱利用	3PJ	5	34	1	11.1%
合計(供給量)	29PJ	27			
再生可能エネルギー自給率			5.3%	再エネ自給率ランク	46
食料自給率			1.3%	食料自給率ランク	46
供給密度(TJ/km ²)			15.254	供給密度ランク	1
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				544PJ	
区域面積				1,905km2	

2023年度 29PJ 対前年度比 101.0%



2022年度 29PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	57.9%	1	泉大津市	37.0	1	豊能郡能勢町	97.5%
2	豊能郡能勢町	23.6%	2	豊中市	34.9	2	南河内郡河南町	43.9%
3	泉南市	17.5%	3	大阪市	33.2	3	南河内郡千早赤阪村	24.4%
4	豊能郡豊能町	17.4%	4	高石市	32.3	4	豊能郡豊能町	10.0%
5	南河内郡千早赤阪村	16.6%	5	八尾市	31.3	5	南河内郡太子町	9.9%
6	南河内郡河南町	16.5%	6	寝屋川市	27.2	6	泉南郡岬町	7.3%
7	柏原市	15.5%	7	堺市	23.2	7	阪南市	6.9%
8	高石市	14.9%	8	東大阪市	21.2	8	泉佐野市	6.36%
9	四條畷市	14.1%	9	吹田市	19.8	9	泉南市	6.3%
10	泉南郡熊取町	13.0%	10	柏原市	19.8	10	岸和田市	5.5%

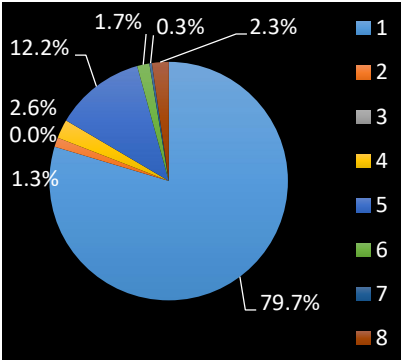
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

2024年度 52PJ 対前年度比 96.2%



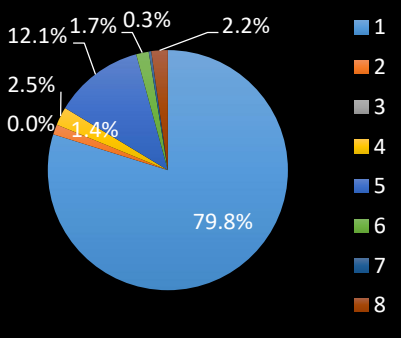
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

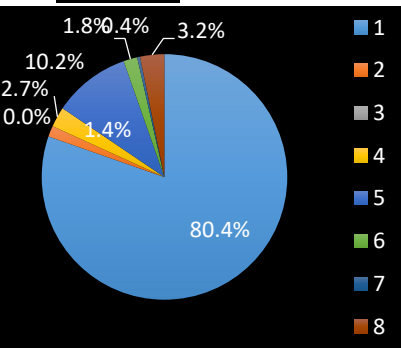
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	42PJ	5	27	13	79.7%
2 風力発電	1PJ	26	30	29	1.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	32	38	37	2.6%
○ 5 バイオマス発電	6PJ	6	21	9	12.2%
6 太陽熱利用	1PJ	14	32	25	1.7%
7 地熱利用	0PJ	29	33	32	0.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	20	42	26	2.3%
合計(供給量)	52PJ	8			
再生可能エネルギー自給率			18.9%	再エネ自給率ランク	35
食料自給率			14.5%	食料自給率ランク	39
供給密度(TJ/km ²)			6.230	供給密度ランク	15
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			278PJ		
区域面積			8,401km2		

2023年度 54PJ 対前年度比 108.0%



2022年度 50PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

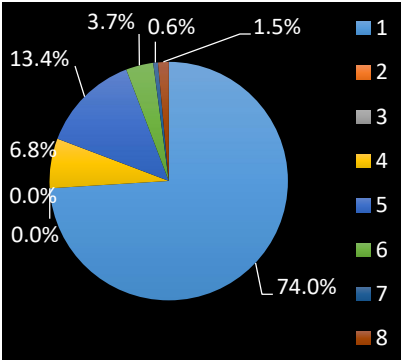
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	赤穂郡上郡町	319.2%	1	尼崎市	32.6	☆1	南あわじ市	126.1%
☆2	淡路市	139.0%	2	高砂市	30.4	☆2	丹波篠山市	108.5%
☆3	佐用郡佐用町	117.1%	3	明石市	26.8	3	加西市	99.6%
4	赤穂市	96.1%	4	加古郡稲美町	22.3	4	美方郡新温泉町	94.6%
5	神崎郡神河町	89.0%	5	加古郡播磨町	21.5	5	丹波市	90.7%
6	加西市	87.8%	6	赤穂市	16.5	6	佐用郡佐用町	87.7%
7	丹波市	83.7%	7	西宮市	16.4	7	加東市	85.2%
8	多可郡多可町	81.2%	8	淡路市	15.9	8	多可郡多可町	82.25%
9	南あわじ市	79.6%	9	赤穂郡上郡町	14.5	9	豊岡市	80.2%
10	宍粟市	74.9%	10	伊丹市	13.9	10	美方郡香美町	79.9%

奈良県

2024年度 11PJ 対前年度比 96.5%



再生可能エネルギー供給状況

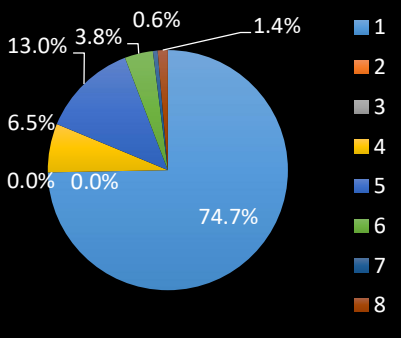
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

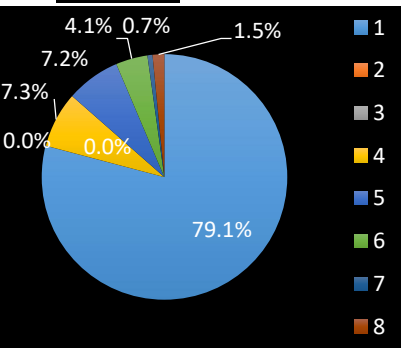
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8PJ	37	30	33	74.0%
2 風力発電	0PJ	39	39	39	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	39	32	32	6.8%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	34	25	21	13.4%
6 太陽熱利用	0PJ	32	24	23	3.7%
7 地熱利用	0PJ	35	28	35	0.6%
8 バイオマス熱利用	0PJ	45	43	43	1.5%
合計(供給量)	11PJ	45			
再生可能エネルギー自給率			15.6%	再エネ自給率ランク	38
食料自給率			13.8%	食料自給率ランク	40
供給密度(TJ/km ²)			2.900	供給密度ランク	39
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			69PJ		
区域面積			3,691km2		

2023年度 11PJ 対前年度比 112.1%



2022年度 10PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	236.7%	1	生駒郡安堵町	22.0	☆1	宇陀郡御杖村	118.5%
☆2	吉野郡吉野町	201.0%	2	吉野郡大淀町	18.7	2	五條市	84.6%
3	吉野郡大淀町	86.9%	3	橿原市	14.3	3	山辺郡山添村	81.7%
4	山辺郡山添村	61.1%	4	香芝市	13.6	4	宇陀郡曽爾村	65.3%
5	五條市	44.1%	5	大和高田市	13.5	5	高市郡明日香村	65.3%
6	桜井市	42.0%	6	北葛城郡王寺町	12.9	6	宇陀市	50.2%
7	宇陀郡御杖村	38.9%	7	北葛城郡広陵町	12.0	7	御所市	45.9%
8	御所市	35.6%	8	北葛城郡上牧町	11.9	8	磯城郡田原本町	35.99%
9	宇陀市	33.5%	9	桜井市	11.5	9	磯城郡三宅町	34.3%
10	生駒郡安堵町	31.4%	10	磯城郡三宅町	11.3	10	高市郡高取町	34.2%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2024年度 19PJ 対前年度比 97.1%

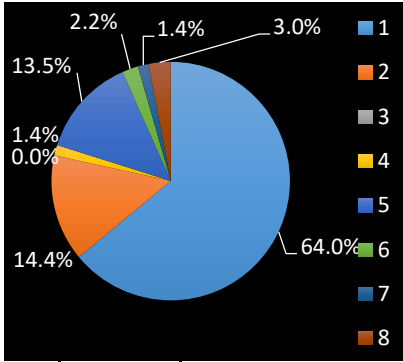
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

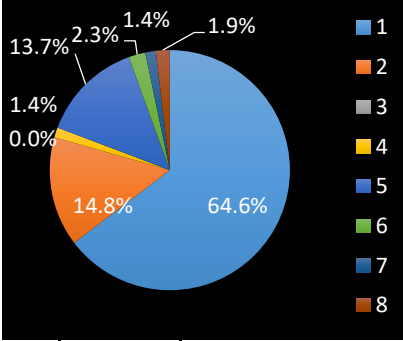
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

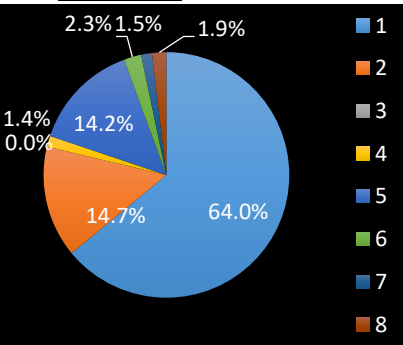
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12PJ	30	16	29	64.0%
○ 2 風力発電	3PJ	10	7	5	14.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	42	39	43	1.4%
○ 5 バイオマス発電	3PJ	23	6	13	13.5%
6 太陽熱利用	0PJ	30	18	30	2.2%
7 地熱利用	0PJ	23	17	20	1.4%
8.バイオマス熱利用	1PJ	37	23	31	3.0%
合計(供給量)	19PJ	33			
再生可能エネルギー自給率			32.9%	再生エネ自給率ランク	20
食料自給率			25.9%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			3.922	供給密度ランク	27
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			56PJ		
区域面積			4,725km2		



2023年度 19PJ 対前年度比 104.8%



2022年度 18PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡日高川町	355.0%	1	西牟婁郡上富田町	36.4	1	日高郡みなべ町	98.7%
☆2	西牟婁郡上富田町	234.6%	2	有田市	18.9	2	有田郡広川町	82.5%
☆3	西牟婁郡すさみ町	155.5%	3	岩出市	17.8	3	有田郡有田川町	81.4%
☆4	有田郡広川町	134.4%	4	和歌山市	14.9	4	日高郡日高町	75.9%
☆5	日高郡印南町	111.1%	5	日高郡美浜町	9.7	5	日高郡日高川町	72.8%
☆6	有田郡有田川町	108.1%	6	日高郡由良町	7.9	6	日高郡印南町	69.7%
7	日高郡由良町	92.6%	7	有田郡広川町	7.0	7	伊都郡かつらぎ町	69.1%
8	新宮市	79.8%	8	御坊市	7.0	8	伊都郡九度山町	63.91%
9	西牟婁郡白浜町	49.2%	9	新宮市	6.1	9	紀の川市	58.6%
10	有田市	44.9%	10	日高郡日高川町	5.7	10	有田郡湯浅町	54.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

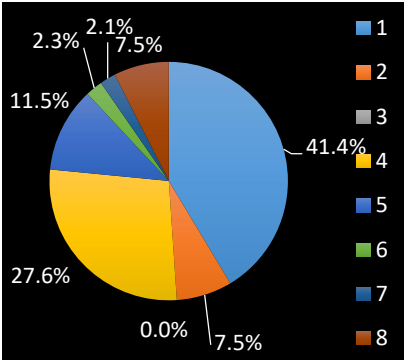
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

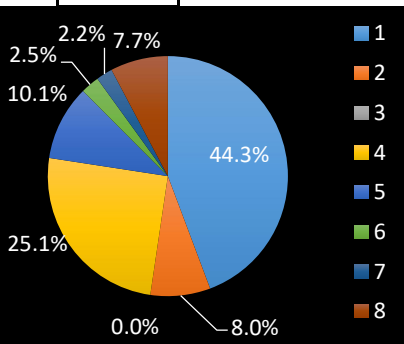
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

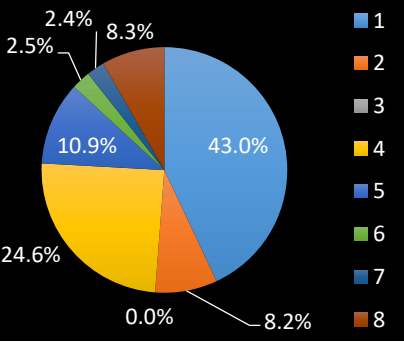
2024年度 12PJ 対前年度比 103.5%



2023年度 12PJ 対前年度比 107.4%



2022年度 11PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

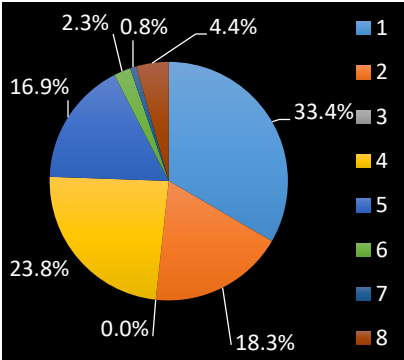
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	42	28	37	41.4%
2 風力発電	1PJ	24	15	18	7.5%
3 地熱発電	0PJ	13	13	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	18	3	6	27.6%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	36	9	20	11.5%
6 太陽熱利用	0PJ	37	13	32	2.3%
7 地熱利用	0PJ	25	8	14	2.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	24	4	14	7.5%
合計(供給量)	12PJ	43			
再生可能エネルギー自給率			34.4%	再生可能エネルギー自給率ランク	18
食料自給率			59.8%	食料自給率ランク	16
供給密度(TJ/km ²)			3.410	供給密度ランク	34
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				35PJ	
区域面積				3,507km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	348.3%	1	境港市	40.8	☆1	日野郡日南町	337.8%
☆2	東伯郡三朝町	156.2%	2	米子市	16.1	☆2	日野郡江府町	201.0%
☆3	西伯郡伯耆町	135.7%	3	東伯郡北栄町	6.4	☆3	西伯郡大山町	190.3%
☆4	西伯郡大山町	111.2%	4	東伯郡湯梨浜町	5.4	☆4	境港市	173.0%
5	日野郡日南町	88.3%	5	西伯郡伯耆町	5.3	☆5	東伯郡琴浦町	127.2%
6	日野郡江府町	79.6%	6	西伯郡大山町	4.5	☆6	西伯郡伯耆町	121.9%
7	八頭郡八頭町	61.9%	7	西伯郡日吉津村	3.6	☆7	岩美郡岩美町	121.3%
8	東伯郡琴浦町	52.4%	8	鳥取市	3.4	☆8	東伯郡北栄町	112.32%
9	東伯郡湯梨浜町	50.5%	9	東伯郡琴浦町	3.1	☆9	八頭郡八頭町	108.7%
10	東伯郡北栄町	48.1%	10	八頭郡若桜町	3.1	☆10	日野郡日野町	107.3%

島根県

2024年度 14PJ 対前年度比 99.2%



再生可能エネルギー供給状況

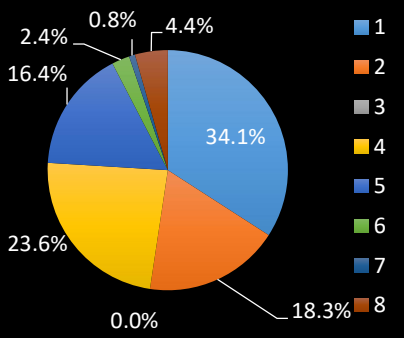
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

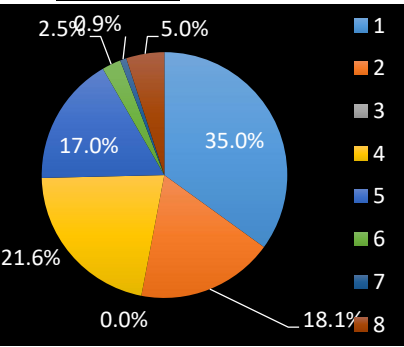
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	43	35	43	33.4%
○ 2 風力発電	3PJ	12	6	12	18.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3PJ	19	8	15	23.8%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	28	3	24	16.9%
6 太陽熱利用	0PJ	35	21	36	2.3%
7 地熱利用	0PJ	32	25	36	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	35	18	35	4.4%
合計(供給量)	14PJ	41			
再生可能エネルギー自給率			28.6%	再エネ自給率ランク	24
食料自給率			60.2%	食料自給率ランク	15
供給密度(TJ/km ²)			2.045	供給密度ランク	42
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			48PJ		
区域面積			6,708km2		

2023年度 14PJ 対前年度比 104.8%



2022年度 13PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	155.3%	1	江津市	8.5	☆1	隠岐郡西ノ島町	485.8%
☆2	鹿足郡津和野町	143.6%	2	出雲市	4.1	☆2	飯石郡飯南町	341.2%
3	邑智郡邑南町	70.6%	3	松江市	4.1	☆3	隠岐郡隠岐の島町	263.2%
4	雲南市	52.4%	4	浜田市	3.1	☆4	仁多郡奥出雲町	251.1%
5	浜田市	52.2%	5	鹿足郡津和野町	2.3	☆5	邑智郡邑南町	192.0%
6	邑智郡美郷町	41.1%	6	雲南市	2.1	☆6	鹿足郡吉賀町	141.7%
7	仁多郡奥出雲町	33.4%	7	隠岐郡海士町	1.5	☆7	安来市	108.4%
8	隠岐郡海士町	26.6%	8	安来市	1.3	8	大田市	94.57%
9	鹿足郡吉賀町	25.0%	9	邑智郡邑南町	1.2	9	鹿足郡津和野町	89.4%
10	安来市	25.0%	10	益田市	1.0	10	邑智郡美郷町	87.1%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

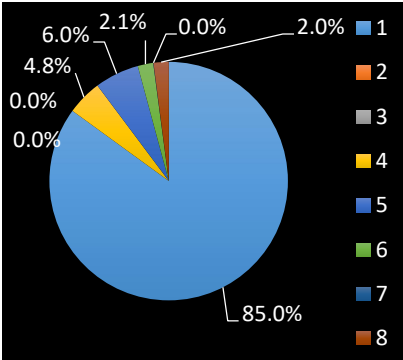
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

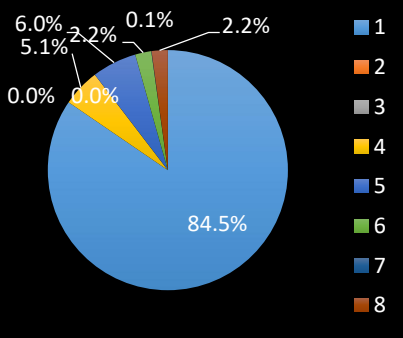
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

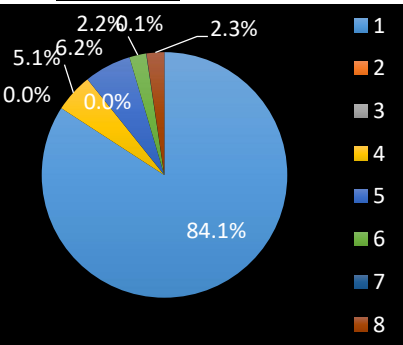
2024年度 41PJ 対前年度比 105.9%



2023年度 38PJ 対前年度比 100.1%



2022年度 38PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

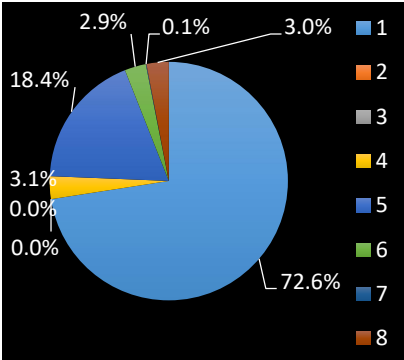
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	35PJ	10	6	14	85.0%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	2PJ	25	26	27	4.8%
5 バイオマス発電	2PJ	25	20	25	6.0%
6 太陽熱利用	1PJ	15	12	20	2.1%
7 地熱利用	0PJ	42	42	42	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	27	27	32	2.0%
合計(供給量)	41PJ	17			
再生可能エネルギー自給率			41.2%	再エネ自給率ランク	12
食料自給率			33.2%	食料自給率ランク	27
供給密度(TJ/km ²)			5.729	供給密度ランク	18
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			99PJ		
区域面積			7,107km ²		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

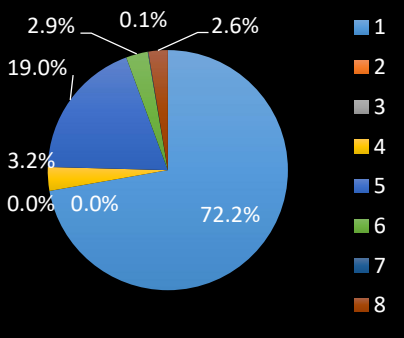
再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	久米郡美咲町	314.8%	1	瀬戸内市	25.6	☆1	真庭郡新庄村	209.2%
☆2	美作市	304.2%	2	都窪郡早島町	24.8	☆2	加賀郡吉備中央町	204.2%
☆3	和気郡和気町	275.4%	3	倉敷市	12.6	☆3	勝田郡奈義町	177.1%
☆4	久米郡久米南町	260.4%	4	和気郡和気町	11.5	☆4	久米郡久米南町	146.3%
☆5	勝田郡奈義町	243.6%	5	笠岡市	11.3	☆5	苫田郡鏡野町	144.6%
☆6	瀬戸内市	180.9%	6	玉野市	10.1	☆6	勝田郡勝央町	109.1%
☆7	苫田郡鏡野町	161.9%	7	浅口郡里庄町	10.0	☆7	真庭市	101.0%
☆8	真庭市	142.3%	8	浅口市	9.9	8	久米郡美咲町	99.99%
☆9	加賀郡吉備中央町	120.3%	9	勝田郡奈義町	9.6	9	英田郡西栗倉村	97.7%
10	新見市	97.6%	10	美作市	8.8	10	美作市	95.1%

広島県

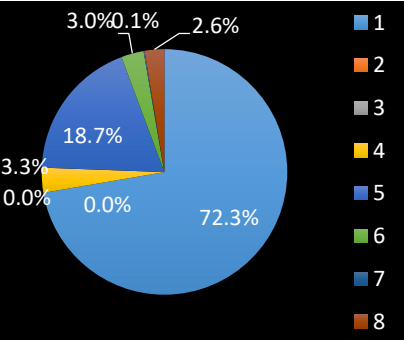
2024年度 36PJ 対前年度比 103.2%



2023年度 35PJ 対前年度比 102.7%



2022年度 34PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26PJ	15	25	24	72.6%
2 風力発電	0PJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	34	34	39	3.1%
○ 5 バイオマス発電	7PJ	5	7	8	18.4%
6 太陽熱利用	1PJ	10	20	18	2.9%
7 地熱利用	0PJ	40	43	41	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	23	30	29	3.0%
合計(供給量)	36PJ	20			
再生可能エネルギー自給率			23.0%	再エネ自給率ランク	30
食料自給率			19.7%	食料自給率ランク	36
供給密度(TJ/km ²)			4.243	供給密度ランク	26
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				156PJ	
区域面積				8,480km2	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	山県郡北広島町	122.2%	1	安芸郡海田町	27.7	☆1	世羅郡世羅町	291.3%
☆2	神石郡神石高原町	103.4%	2	安芸郡府中町	25.2	☆2	山県郡北広島町	256.8%
3	三次市	79.9%	3	呉市	14.5	☆3	庄原市	222.1%
4	庄原市	78.9%	4	安芸郡熊野町	8.7	☆4	神石郡神石高原町	196.2%
5	安芸高田市	75.9%	5	福山市	8.0	☆5	安芸高田市	188.0%
6	世羅郡世羅町	73.7%	6	東広島市	7.0	☆6	三次市	127.5%
7	廿日市市	51.3%	7	尾道市	5.9	7	江田島市	84.0%
8	呉市	46.4%	8	廿日市市	5.9	8	山県郡安芸太田町	63.68%
9	豊田郡大崎上島町	44.9%	9	広島市	5.6	9	三原市	52.9%
10	三原市	41.3%	10	豊田郡大崎上島町	4.4	10	東広島市	34.1%

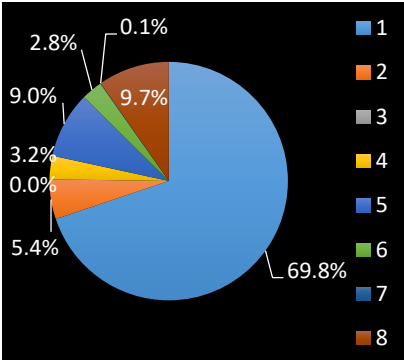
※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2024年度 30PJ 対前年度比 106.8%



再生可能エネルギー供給状況

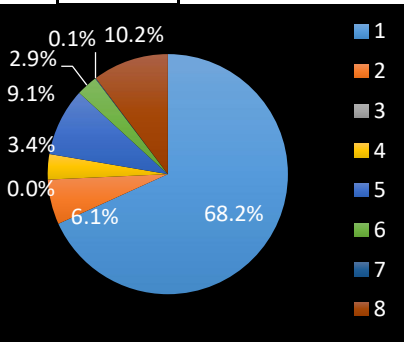
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

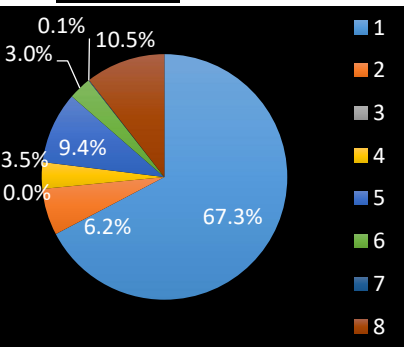
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21PJ	21	13	20	69.8%
2 風力発電	2PJ	16	19	16	5.4%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	37	30	38	3.2%
5 バイオマス発電	3PJ	22	14	17	9.0%
6 太陽熱利用	1PJ	16	7	16	2.8%
7 地熱利用	0PJ	41	37	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	3PJ	6	1	9	9.7%
合計(供給量)	30PJ	26			
再生可能エネルギー自給率			35.7%	再エネ自給率ランク	15
食料自給率			28.3%	食料自給率ランク	32
供給密度(TJ/km ²)			4.930	供給密度ランク	21
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			84PJ		
区域面積			6,113km2		

2023年度 28PJ 対前年度比 103.0%



2022年度 27PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	熊毛郡平生町	132.8%	1	熊毛郡平生町	24.6	☆1	阿武郡阿武町	227.5%
☆2	美祢市	127.2%	2	山陽小野田市	15.8	☆2	美祢市	123.8%
3	柳井市	75.6%	3	防府市	12.1	3	長門市	93.3%
4	山陽小野田市	61.5%	4	下松市	11.2	4	萩市	84.1%
5	熊毛郡田布施町	58.3%	5	柳井市	10.7	5	山口市	47.4%
6	岩国市	52.7%	6	宇部市	9.5	6	柳井市	35.9%
7	防府市	35.2%	7	熊毛郡田布施町	7.7	7	熊毛郡田布施町	35.7%
8	大島郡周防大島町	35.1%	8	下関市	6.4	8	大島郡周防大島町	34.61%
9	周南市	32.6%	9	光市	6.0	9	下関市	27.9%
10	下松市	30.2%	10	周南市	5.0	10	山陽小野田市	21.0%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

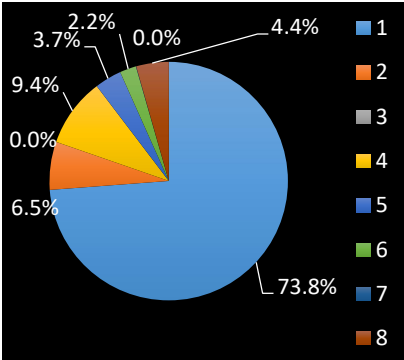
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2024年度 16PJ 対前年度比 102.8%



再生可能エネルギー供給状況

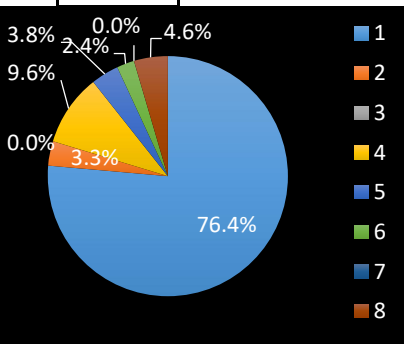
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

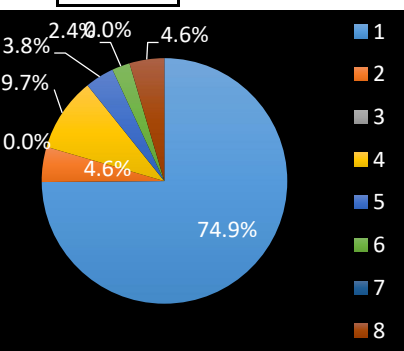
◎

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	12PJ	31	11	27	73.8%
2 風力発電	1PJ	23	17	19	6.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	30	22	25	9.4%
5 バイオマス発電	1PJ	45	36	44	3.7%
6 太陽熱利用	0PJ	33	15	31	2.2%
7 地熱利用	0PJ	47	47	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	30	13	21	4.4%
合計(供給量)	16PJ	35			
再生可能エネルギー自給率			34.6%	再エネ自給率ランク	17
食料自給率			34.1%	食料自給率ランク	25
供給密度(TJ/km ²)			3.811	供給密度ランク	30
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			46PJ		
区域面積			4,147km2		

2023年度 15PJ 対前年度比 101.4%



2022年度 15PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	勝浦郡上勝町	750.3%	1	小松島市	31.5	☆1	阿波市	129.2%
☆2	名東郡佐那河内村	423.5%	2	板野郡北島町	22.6	2	勝浦郡勝浦町	83.0%
☆3	阿波市	125.0%	3	板野郡松茂町	13.8	3	海部郡海陽町	78.0%
☆4	三好市	117.5%	4	板野郡藍住町	13.5	4	名東郡佐那河内村	65.3%
5	美馬市	74.1%	5	板野郡上板町	11.8	5	板野郡上板町	63.9%
6	板野郡上板町	73.7%	6	名西郡石井町	11.3	6	阿南市	57.1%
7	阿南市	51.3%	7	阿波市	11.0	7	小松島市	56.8%
8	小松島市	49.2%	8	徳島市	10.3	8	板野郡板野町	54.56%
9	吉野川市	48.3%	9	名東郡佐那河内村	9.0	9	美馬市	50.6%
10	美馬郡つるぎ町	47.2%	10	板野郡板野町	7.8	10	海部郡美波町	45.3%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

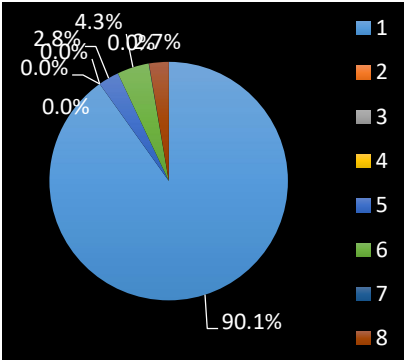
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

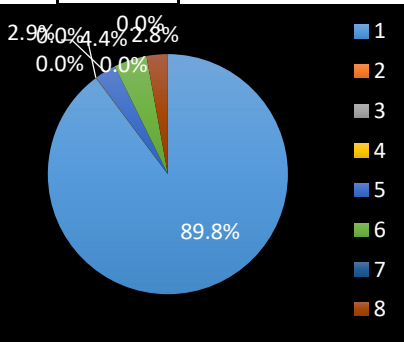
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

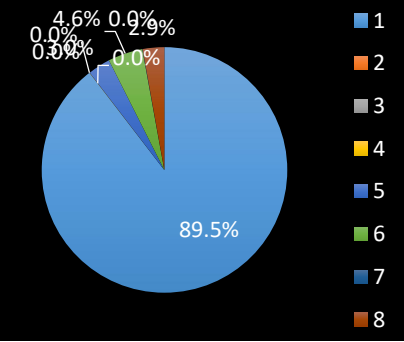
2024年度 15PJ 対前年度比 103.8%



2023年度 14PJ 対前年度比 102.9%



2022年度 14PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

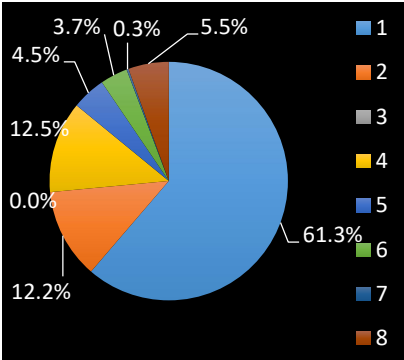
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	28	15	8	90.1%
2 風力発電	0PJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	47	47	47	0.0%
5 バイオマス発電	0PJ	47	46	35	2.8%
6 太陽熱利用	1PJ	25	4	7	4.3%
7 地熱利用	0PJ	46	46	46	0.0%
8.バイオマス熱利用	0PJ	41	29	17	2.7%
合計(供給量)	15PJ	37			
再生可能エネルギー自給率			26.7%	再生エネ自給率ランク	28
食料自給率			29.3%	食料自給率ランク	31
供給密度(TJ/km ²)			7.750	供給密度ランク	12
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			55PJ		
区域面積			1,877km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	仲多度郡まんのう町	123.7%	1	綾歌郡宇多津町	19.7	☆1	仲多度郡まんのう町	116.8%
2	三豊市	66.3%	2	坂出市	11.7	2	綾歌郡綾川町	86.0%
3	東かがわ市	48.5%	3	高松市	11.3	3	三豊市	66.5%
4	さぬき市	48.2%	4	丸亀市	10.7	4	香川郡直島町	64.9%
5	綾歌郡綾川町	42.1%	5	仲多度郡多度津町	9.2	5	さぬき市	58.6%
6	木田郡三木町	39.6%	6	観音寺市	8.6	6	東かがわ市	58.0%
7	小豆郡小豆島町	38.3%	7	三豊市	8.6	7	観音寺市	55.0%
8	坂出市	36.1%	8	善通寺市	8.2	8	木田郡三木町	46.39%
9	観音寺市	33.9%	9	仲多度郡琴平町	7.3	9	善通寺市	33.3%
10	丸亀市	21.9%	10	さぬき市	7.0	10	仲多度郡琴平町	26.8%

愛媛県

2024年度 21PJ 対前年度比 101.7%



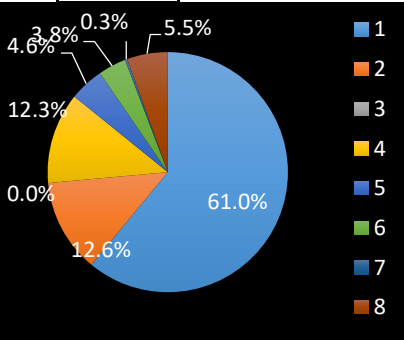
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

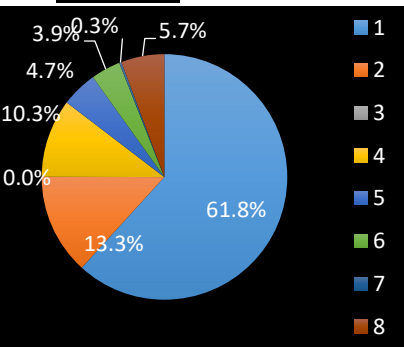
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	29	26	30	61.3%
○ 2 風力発電	3PJ	11	13	8	12.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	23	20	18	12.5%
5 バイオマス発電	1PJ	40	37	42	4.5%
6 太陽熱利用	1PJ	19	6	15	3.7%
7 地熱利用	0PJ	36	31	37	0.3%
8.バイオマス熱利用	1PJ	21	15	18	5.5%
合計(供給量)	21PJ	29			
再生可能エネルギー自給率			26.9%	再エネ自給率ランク	27
食料自給率			32.8%	食料自給率ランク	28
供給密度(TJ/km ²)			3.747	供給密度ランク	31
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			79PJ		
区域面積			5,676km2		

2023年度 21PJ 対前年度比 103.1%



2022年度 20PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

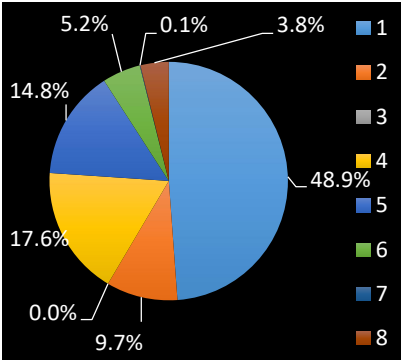
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

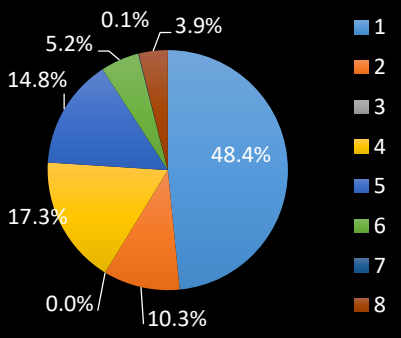
再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	260.5%	1	西宇和郡伊方町	15.2	☆1	南宇和郡愛南町	247.9%
☆2	上浮穴郡久万高原町	196.3%	2	伊予郡松前町	15.1	☆2	西予市	115.5%
3	西条市	52.5%	3	新居浜市	10.6	☆3	上浮穴郡久万高原町	114.9%
4	南宇和郡愛南町	51.7%	4	松山市	9.4	☆4	北宇和郡松野町	112.2%
5	西予市	46.3%	5	西条市	5.8	5	北宇和郡鬼北町	99.0%
6	大洲市	44.5%	6	今治市	5.7	6	西宇和郡伊方町	94.9%
7	新居浜市	36.4%	7	南宇和郡愛南町	3.0	7	宇和島市	83.8%
8	北宇和郡松野町	34.9%	8	大洲市	2.5	8	西条市	60.60%
9	北宇和郡鬼北町	31.0%	9	宇和島市	2.4	9	八幡浜市	56.9%
10	今治市	28.3%	10	四国中央市	2.4	10	喜多郡内子町	53.6%

高知県

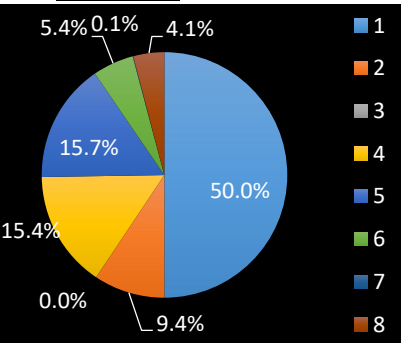
2024年度 14PJ 対前年度比 98.3%



2023年度 15PJ 対前年度比 103.9%



2022年度 14PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7PJ	39	24	39	48.9%
2 風力発電	1PJ	19	12	23	9.7%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3PJ	24	10	24	17.6%
○ 5 バイオマス発電	2PJ	29	2	30	14.8%
6 太陽熱利用	1PJ	20	2	24	5.2%
7 地熱利用	0PJ	44	39	45	0.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	38	16	37	3.8%
合計(供給量)	14PJ	39			
再生可能エネルギー自給率			34.6%	再エネ自給率ランク	16
食料自給率			40.9%	食料自給率ランク	22
供給密度(TJ/km ²)			2.029	供給密度ランク	43
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			42PJ		
区域面積			7,104km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	高岡郡橋原町	373.1%	1	高知市	11.5	☆1	幡多郡大月町	245.3%
☆2	長岡郡大豊町	254.3%	2	幡多郡大月町	9.0	☆2	幡多郡三原村	196.9%
☆3	幡多郡大月町	251.8%	3	南国市	5.1	☆3	高岡郡四万十町	168.7%
☆4	吾川郡仁淀川町	238.0%	4	土佐市	4.9	☆4	土佐郡土佐町	140.8%
☆5	高岡郡津野町	102.5%	5	高岡郡佐川町	3.7	☆5	安芸郡北川村	136.0%
6	香美市	97.0%	6	安芸郡田野町	3.0	☆6	幡多郡黒潮町	135.2%
7	長岡郡本山町	76.5%	7	高岡郡橋原町	3.0	☆7	安芸郡安田町	121.9%
8	高岡郡佐川町	65.5%	8	安芸郡芸西村	3.0	☆8	安芸郡東洋町	119.84%
9	宿毛市	65.3%	9	安芸郡奈半利町	2.7	☆9	高岡郡中土佐町	104.3%
10	室戸市	62.7%	10	香美市	2.7	10	長岡郡本山町	97.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

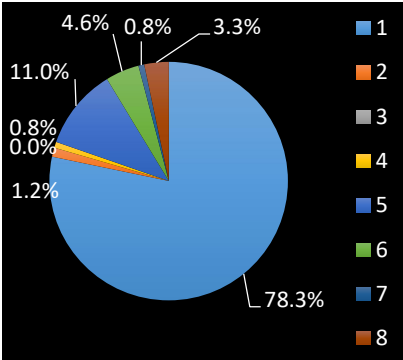
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

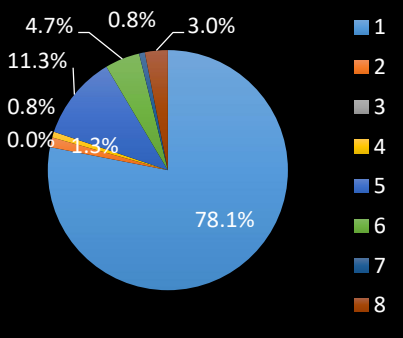
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

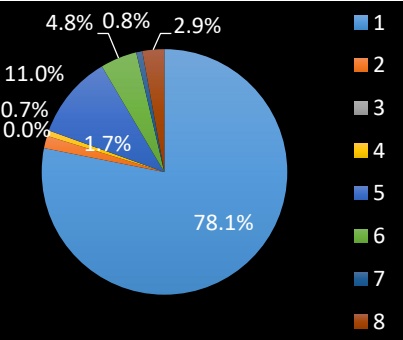
2024年度 41PJ 対前年度比 100.9%



2023年度 41PJ 対前年度比 97.6%



2022年度 41PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

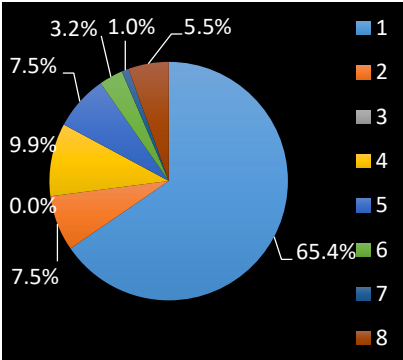
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	12	32	10	78.3%
2 風力発電	0PJ	29	31	27	1.2%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	41	42	41	0.8%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	10	31	7	11.0%
6 太陽熱利用	2PJ	2	22	6	4.6%
7 地熱利用	0PJ	20	27	17	0.8%
8.バイオマス熱利用	1PJ	18	39	13	3.3%
合計(供給量)	41PJ	16			
再生可能エネルギー自給率			14.4%	再エネ自給率ランク	40
食料自給率			16.6%	食料自給率ランク	38
供給密度(TJ/km ²)			7.967	供給密度ランク	11
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				284PJ	
区域面積				5,127km2	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	京都府みやこ町	145.7%	1	春日市	48.3	☆1	みやま市	147.8%
☆2	築上郡上毛町	115.2%	2	田川郡川崎町	21.8	☆2	築上郡上毛町	140.0%
☆3	田川郡川崎町	112.2%	3	大牟田市	17.4	☆3	田川郡赤村	134.4%
☆4	田川郡赤村	108.5%	4	田川郡糸田町	17.4	☆4	柳川市	126.3%
5	嘉麻市	94.7%	5	朝倉郡筑前町	17.2	☆5	京都府みやこ町	117.0%
6	宮若市	72.4%	6	鞍手郡小竹町	15.6	☆6	朝倉郡筑前町	111.3%
7	鞍手郡小竹町	70.4%	7	糟屋郡志免町	15.4	☆7	三潁郡大木町	111.0%
8	田川郡大任町	68.5%	8	筑後市	14.6	☆8	築上郡築上町	109.53%
9	朝倉郡筑前町	67.8%	9	宗像市	14.5	☆9	朝倉市	107.4%
10	みやま市	52.6%	10	糟屋郡粕屋町	13.7	10	三井郡大刀洗町	99.8%

佐賀県

2024年度 15PJ 対前年度比 101.7%



再生可能エネルギー供給状況

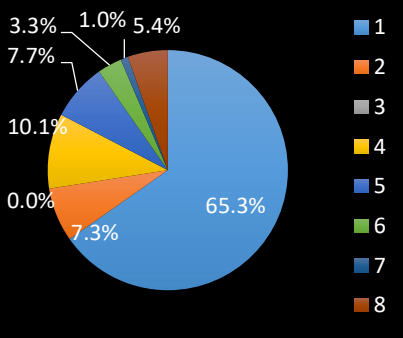
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

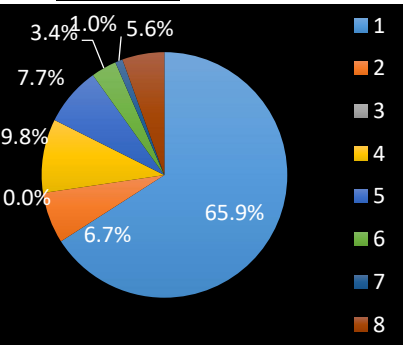
◎

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	9PJ	35	18	17	65.4%
2 風力発電	1PJ	22	16	9	7.5%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1PJ	31	23	13	9.9%
5 バイオマス発電	1PJ	38	22	16	7.5%
6 太陽熱利用	0PJ	29	9	10	3.2%
7 地熱利用	0PJ	30	22	19	1.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	28	11	11	5.5%
合計(供給量)	15PJ	38			
再生可能エネルギー自給率			30.1%	再エネ自給率ランク	23
食料自給率			80.3%	食料自給率ランク	8
供給密度(TJ/km ²)			5.948	供給密度ランク	17
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			48PJ		
区域面積			2,441km2		

2023年度 14PJ 対前年度比 97.5%



2022年度 15PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	伊万里市	62.0%	1	三養基郡上峰町	16.1	☆1	杵島郡白石町	439.3%
2	藤津郡太良町	58.3%	2	杵島郡大町町	10.5	☆2	神崎市	161.3%
3	神崎市	47.2%	3	鳥栖市	9.3	☆3	杵島郡江北町	161.2%
4	多久市	47.2%	4	佐賀市	8.1	☆4	東松浦郡玄海町	140.8%
5	東松浦郡玄海町	47.0%	5	伊万里市	7.4	☆5	藤津郡太良町	139.6%
6	唐津市	45.3%	6	三養基郡みやき町	7.1	☆6	小城市	128.6%
7	三養基郡上峰町	43.5%	7	三養基郡基山町	6.4	☆7	三養基郡みやき町	116.3%
8	嬉野市	41.7%	8	神崎市	6.3	8	鹿島市	95.14%
9	武雄市	35.3%	9	唐津市	5.9	9	杵島郡大町町	79.8%
10	杵島郡大町町	34.9%	10	嬉野市	5.0	10	三養基郡上峰町	77.8%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

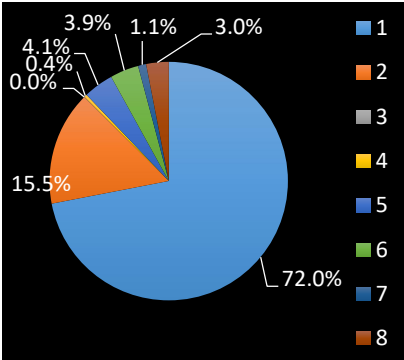
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

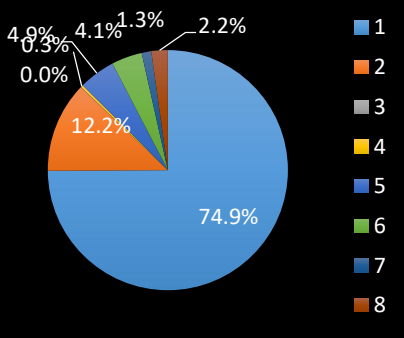
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

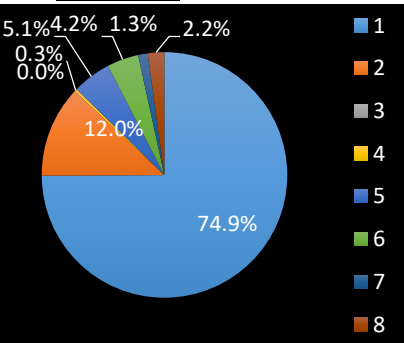
2024年度 19PJ 対前年度比 116.1%



2023年度 16PJ 対前年度比 97.9%



2022年度 16PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

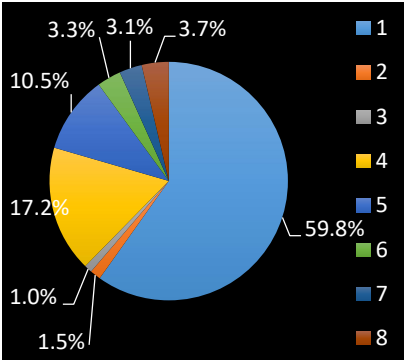
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13PJ	26	22	22	72.0%
○ 2 風力発電	3PJ	8	10	3	15.5%
3 地熱発電	0PJ	12	11	10	0.0%
4 小水力発電	0PJ	44	43	45	0.4%
5 バイオマス発電	1PJ	42	43	40	4.1%
6 太陽熱利用	1PJ	23	10	13	3.9%
7 地熱利用	0PJ	26	23	22	1.1%
8.バイオマス熱利用	1PJ	36	28	27	3.0%
合計(供給量)	19PJ	32			
再生可能エネルギー自給率		24.1%	再エネ自給率ランク		29
食料自給率		37.2%	食料自給率ランク		24
供給密度(TJ/km ²)		4.534	供給密度ランク		24
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)		78PJ			
区域面積		4,131km ²			

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	五島市	88.7%	1	西彼杵郡時津町	19.1	☆1	南松浦郡新上五島町	214.0%
2	平戸市	58.2%	2	大村市	13.4	☆2	平戸市	204.0%
3	東彼杵郡東彼杵町	58.0%	3	北松浦郡佐々町	8.2	☆3	雲仙市	125.3%
4	西海市	53.0%	4	諫早市	7.7	4	北松浦郡小値賀町	88.4%
5	南島原市	46.4%	5	島原市	6.9	5	松浦市	81.0%
6	北松浦郡佐々町	40.3%	6	長崎市	6.5	6	壱岐市	80.5%
7	雲仙市	35.2%	7	佐世保市	6.2	7	東彼杵郡東彼杵町	78.7%
8	大村市	33.5%	8	西彼杵郡長与町	6.2	8	南島原市	77.28%
9	松浦市	31.1%	9	南島原市	6.0	9	五島市	68.9%
10	諫早市	29.7%	10	五島市	5.3	10	西海市	62.5%

熊本県

2024年度 43PJ 対前年度比 104.0%



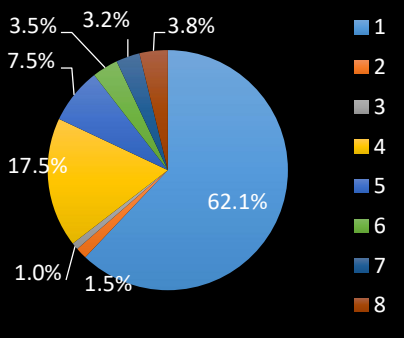
再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

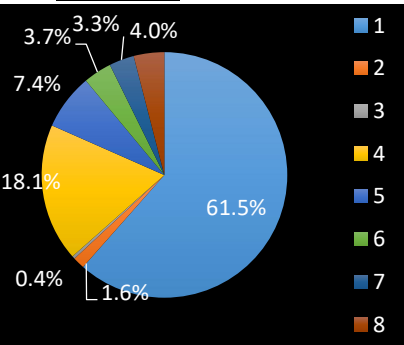
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25PJ	17	10	18	59.8%
2 風力発電	1PJ	27	24	28	1.5%
3 地熱発電	0PJ	8	7	7	1.0%
○ 4 小水力発電	7PJ	4	4	5	17.2%
○ 5 バイオマス発電	4PJ	11	4	11	10.5%
6 太陽熱利用	1PJ	7	3	8	3.3%
7 地熱利用	1PJ	6	5	4	3.1%
8.バイオマス熱利用	2PJ	17	10	15	3.7%
合計(供給量)	43PJ	13			
再生可能エネルギー自給率			45.0%	再エネ自給率ランク	9
食料自給率			52.3%	食料自給率ランク	17
供給密度(TJ/km ²)			5.961	供給密度ランク	16
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			95PJ		
区域面積			7,135km2		

2023年度 41PJ 対前年度比 103.9%



2022年度 39PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	1402.4%	1	荒尾市	32.7	☆1	阿蘇郡産山村	276.9%
☆2	球磨郡水上村	984.5%	2	菊池郡大津町	23.5	☆2	上益城郡山都町	229.9%
☆3	阿蘇郡小国町	364.3%	3	玉名郡長洲町	17.4	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	191.0%
☆4	上益城郡山都町	327.9%	4	合志市	16.9	☆4	阿蘇市	179.5%
☆5	球磨郡相良村	254.0%	5	上益城郡益城町	16.8	☆5	球磨郡多良木町	168.3%
☆6	阿蘇郡高森町	243.2%	6	熊本市	12.3	☆6	球磨郡あさぎり町	164.8%
☆7	玉名郡南関町	227.8%	7	玉名郡南関町	12.2	☆7	玉名郡和水町	157.9%
☆8	玉名郡和水町	169.4%	8	阿蘇郡小国町	11.0	☆8	球磨郡湯前町	157.37%
☆9	球磨郡錦町	139.4%	9	水俣市	10.8	☆9	八代郡氷川町	140.6%
☆10	阿蘇郡西原村	136.6%	10	菊池市	10.4	☆10	菊池市	137.4%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

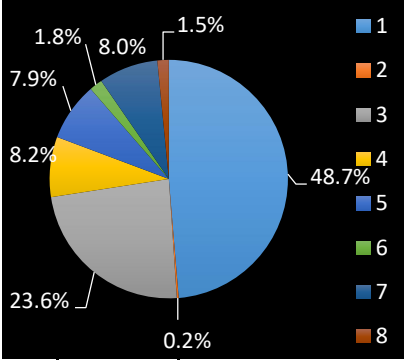
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2024年度 41PJ 対前年度比 103.7%

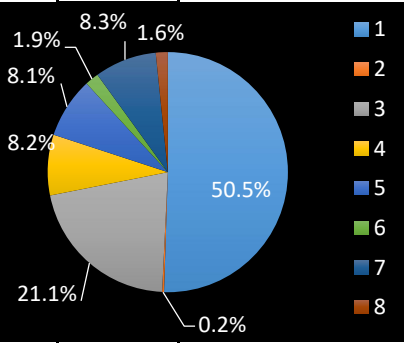


再生可能エネルギー供給状況

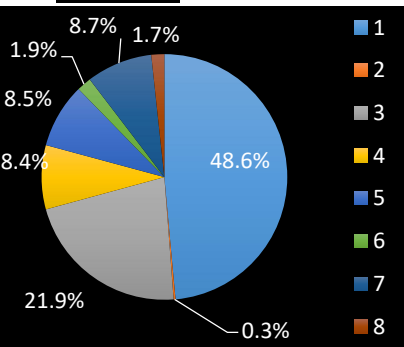
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2023年度 40PJ 対前年度比 104.2%



2022年度 38PJ



PJ(ペタジュール)=10 ¹⁵ J					
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20PJ	22	9	23	48.7%
2 風力発電	0PJ	33	33	34	0.2%
◎ 3 地熱発電	10PJ	1	1	1	23.6%
4 小水力発電	3PJ	15	14	14	8.2%
5 バイオマス発電	3PJ	17	5	14	7.9%
6 太陽熱利用	1PJ	22	5	22	1.8%
7 地熱利用	3PJ	1	1	1	8.0%
8.バイオマス熱利用	1PJ	33	25	34	1.5%
合計(供給量)	41PJ	15			
再生可能エネルギー自給率			57.4%	再エネ自給率ランク	3
食料自給率			39.1%	食料自給率ランク	23
供給密度(TJ/km ²)			6.536	供給密度ランク	14
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			72PJ		
区域面積			6,341km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1403.5%	1	玖珠郡九重町	40.0	☆1	竹田市	217.3%
☆2	豊後大野市	141.1%	2	速見郡日出町	27.3	☆2	玖珠郡九重町	155.4%
☆3	速見郡日出町	133.8%	3	別府市	27.1	☆3	豊後大野市	140.1%
☆4	玖珠郡玖珠町	114.5%	4	大分市	13.3	☆4	宇佐市	139.4%
☆5	由布市	102.7%	5	由布市	9.0	☆5	国東市	118.3%
6	杵築市	94.3%	6	杵築市	5.4	☆6	玖珠郡玖珠町	102.5%
7	宇佐市	65.2%	7	宇佐市	4.7	7	豊後高田市	95.8%
8	豊後高田市	62.7%	8	豊後大野市	4.7	8	杵築市	89.93%
9	日田市	62.4%	9	豊後高田市	4.1	9	由布市	67.4%
10	国東市	58.5%	10	日田市	4.0	10	日田市	56.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

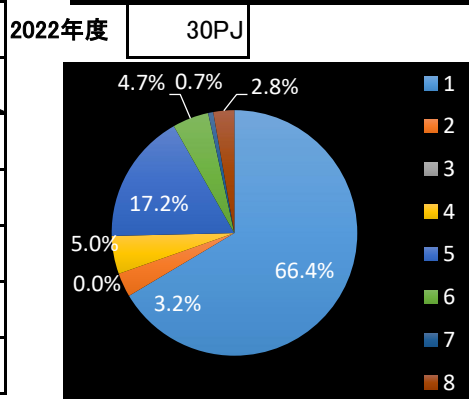
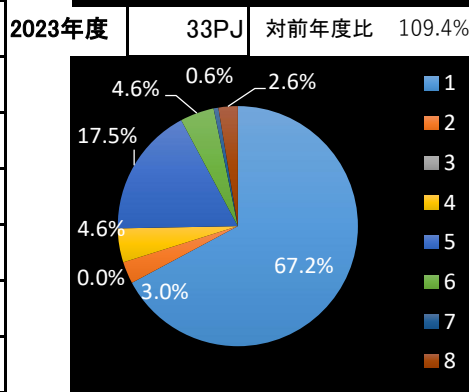
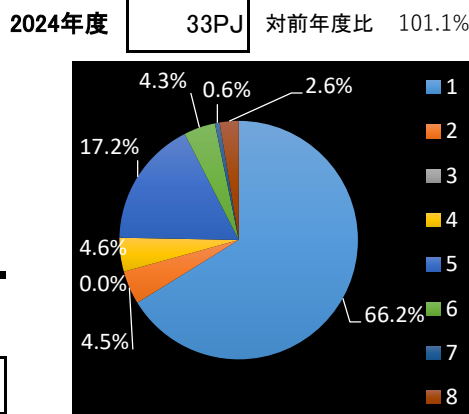
宮崎県

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール) = 10^{15} J

	エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎	1 太陽光発電	22PJ	20	8	26	66.2%
	2 風力発電	1PJ	18	18	24	4.5%
	3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
	4 小水力発電	2PJ	29	25	34	4.6%
○	5 バイオマス発電	6PJ	7	1	10	17.2%
	6 太陽熱利用	1PJ	6	1	12	4.3%
	7 地熱利用	0PJ	27	21	30	0.6%
	8.バイオマス熱利用	1PJ	26	19	33	2.6%
	合計(供給量)	33PJ	24			
再生可能エネルギー自給率				49.0%	再エネ自給率ランク	7
食料自給率				50.6%	食料自給率ランク	18
供給密度(TJ/km ²)				4.271	供給密度ランク	25
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)				67PJ		
区域面積				7,735km ²		



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	605.1%	1	児湯郡川南町	17.9	☆1	えびの市	188.2%
☆2	西臼杵郡五ヶ瀬町	264.8%	2	児湯郡高鍋町	12.4	☆2	東臼杵郡美郷町	169.4%
☆3	児湯郡都農町	204.4%	3	児湯郡都農町	11.0	☆3	児湯郡川南町	143.1%
☆4	串間市	179.6%	4	宮崎市	10.9	☆4	串間市	122.1%
☆5	児湯郡川南町	146.4%	5	東諸県郡国富町	10.5	☆5	児湯郡木城町	121.5%
☆6	東諸県郡国富町	137.6%	6	日向市	9.8	☆6	西都市	110.7%
☆7	えびの市	105.1%	7	児湯郡新富町	8.1	☆7	西諸県郡高原町	102.7%
☆8	西臼杵郡日之影町	103.5%	8	都城市	7.5	8	西臼杵郡五ヶ瀬町	99.09%
9	東臼杵郡門川町	85.4%	9	串間市	6.4	9	児湯郡新富町	88.1%
10	日向市	84.7%	10	東臼杵郡門川町	6.0	10	児湯郡都農町	87.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

再生可能エネルギー供給状況

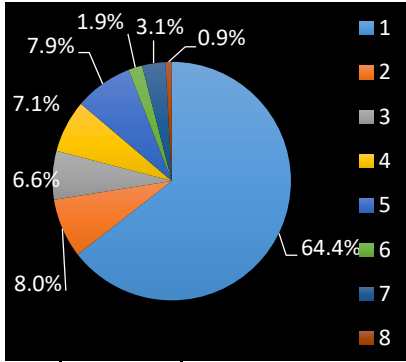
2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

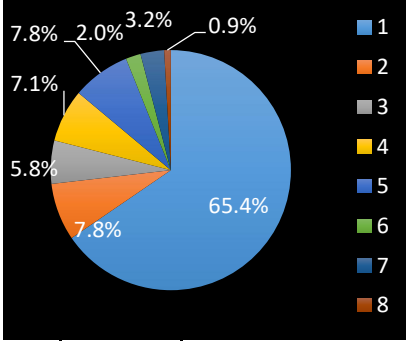
PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	32PJ	11	7	19	64.4%
2 風力発電	4PJ	6	8	10	8.0%
3 地熱発電	3PJ	4	4	3	6.6%
4 小水力発電	4PJ	13	16	22	7.1%
5 バイオマス発電	4PJ	12	8	18	7.9%
6 太陽熱利用	1PJ	12	8	26	1.9%
7 地熱利用	2PJ	4	4	6	3.1%
8.バイオマス熱利用	0PJ	40	41	41	0.9%
合計(供給量)	50PJ	11			
再生可能エネルギー自給率			50.9%	再生エネ自給率ランク	5
食料自給率			72.4%	食料自給率ランク	11
供給密度(TJ/km ²)			5.432	供給密度ランク	20
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			98PJ		
区域面積			9,187km2		

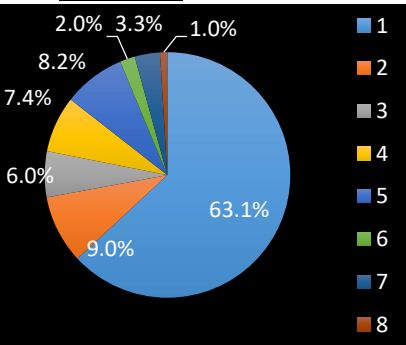
2024年度 50PJ 対前年度比 102.1%



2023年度 49PJ 対前年度比 104.6%



2022年度 47PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	肝属郡南大隅町	222.3%	1	指宿市	18.7	☆1	熊毛郡中種子町	840.9%
☆2	姶良郡湧水町	209.4%	2	曾於郡大崎町	17.5	☆2	大島郡天城町	621.4%
☆3	曾於郡大崎町	168.7%	3	霧島市	13.9	☆3	大島郡知名町	575.3%
☆4	出水郡長島町	146.2%	4	枕崎市	11.2	☆4	大島郡喜界町	542.2%
☆5	肝属郡肝付町	136.2%	5	鹿児島市	9.8	☆5	大島郡伊仙町	533.3%
☆6	薩摩郡さつま町	129.3%	6	姶良郡湧水町	9.6	☆6	大島郡和泊町	507.4%
☆7	南九州市	128.0%	7	出水郡長島町	9.1	☆7	出水郡長島町	387.6%
☆8	霧島市	114.4%	8	南九州市	7.8	☆8	熊毛郡南種子町	358.08%
☆9	南さつま市	112.8%	9	南さつま市	7.1	☆9	西之表市	316.3%
☆10	指宿市	100.6%	10	鹿屋市	7.0	☆10	曾於郡大崎町	314.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

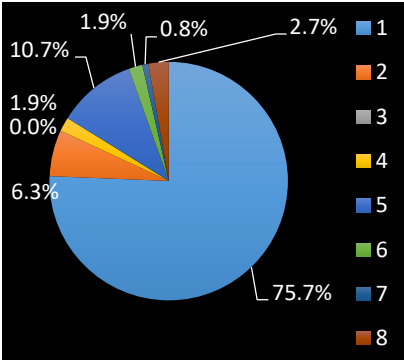
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

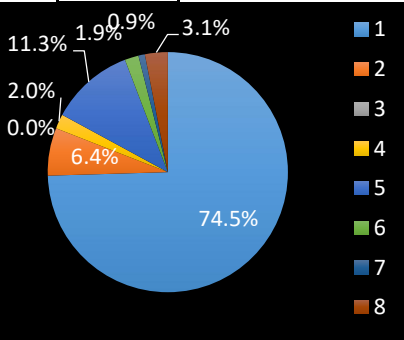
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

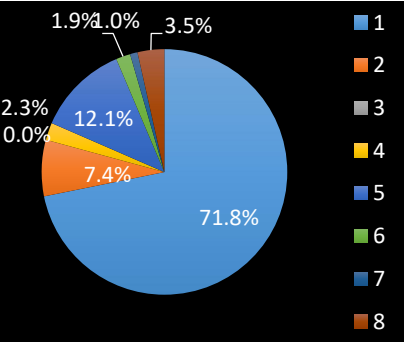
2024年度 7PJ 対前年度比 102.2%



2023年度 7PJ 対前年度比 115.5%



2022年度 6PJ



※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー供給状況

2025年3月末の設備状況をもとに2024年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

PJ(ペタジュール)=10¹⁵J

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5PJ	41	39	31	75.7%
2 風力発電	0PJ	30	25	25	6.3%
3 地熱発電	0PJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	0PJ	43	41	42	1.9%
○ 5 バイオマス発電	1PJ	44	45	26	10.7%
6 太陽熱利用	0PJ	42	40	35	1.9%
7 地熱利用	0PJ	37	32	31	0.8%
8.バイオマス熱利用	0PJ	44	44	36	2.7%
合計(供給量)	7PJ	47			
再生可能エネルギー自給率		8.0%	再エネ自給率ランク		43
食料自給率		31.3%	食料自給率ランク		29
供給密度(TJ/km ²)		2.961	供給密度ランク		38
民生・農林水産用エネルギー需要(再エネ熱含む)			84PJ		
区域面積			2,281km2		

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	150.1%	1	島尻郡南風原町	49.5	☆1	島尻郡南大東村	4248.0%
2	国頭郡大宜味村	85.6%	2	沖縄市	13.4	☆2	島尻郡北大東村	2331.3%
3	国頭郡伊江村	54.4%	3	宜野湾市	12.4	☆3	宮古郡多良間村	1418.2%
4	国頭郡今帰仁村	49.9%	4	うるま市	9.5	☆4	島尻郡伊是名村	1002.5%
5	国頭郡宜野座村	35.1%	5	糸満市	9.3	☆5	島尻郡久米島町	411.8%
6	国頭郡本部町	29.1%	6	浦添市	9.2	☆6	八重山郡竹富町	379.1%
7	国頭郡国頭村	26.2%	7	豊見城市	8.7	☆7	宮古島市	331.7%
8	宮古郡多良間村	25.9%	8	島尻郡与那原町	7.7	☆8	島尻郡伊平屋村	331.21%
9	島尻郡南風原町	22.7%	9	那覇市	7.6	☆9	島尻郡栗国村	204.1%
10	八重山郡与那国町	22.2%	10	中頭郡北谷町	7.0	☆10	八重山郡与那国町	121.7%

※ 再生可能エネルギー自給率は、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生・農林水産用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。